



人口減少対策の取組  
石岡市の総合計画への反映  
～子育て世代に魅力的なまちを目指して～





## 人口減少対策

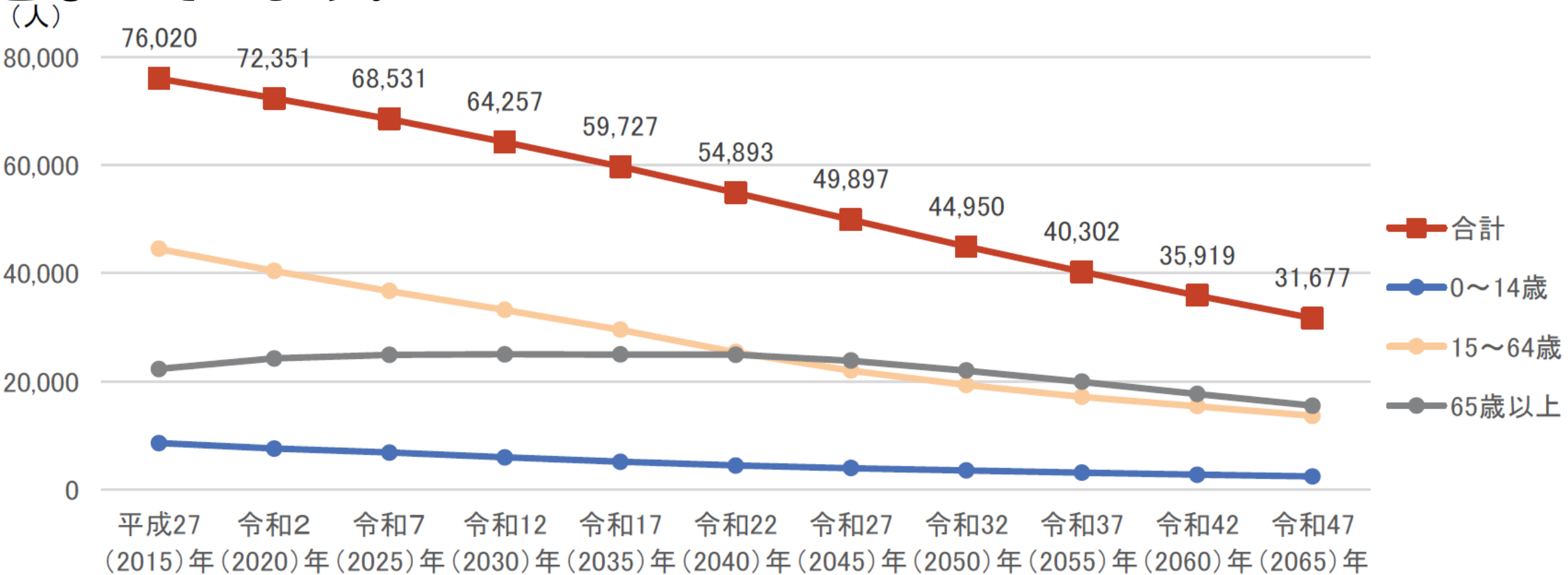


若い世代が結婚、出産、子育ての希望をかなえられる魅力あるまちづくりを進めることで、移住の推進や転出抑制に繋がることから、少子化対策（出生率の増加）を基本とした取組を展開する。

# 石岡市の課題 人口減少



令和12年には約6万4千人、令和47年には約3万1千人になる推計となっています。

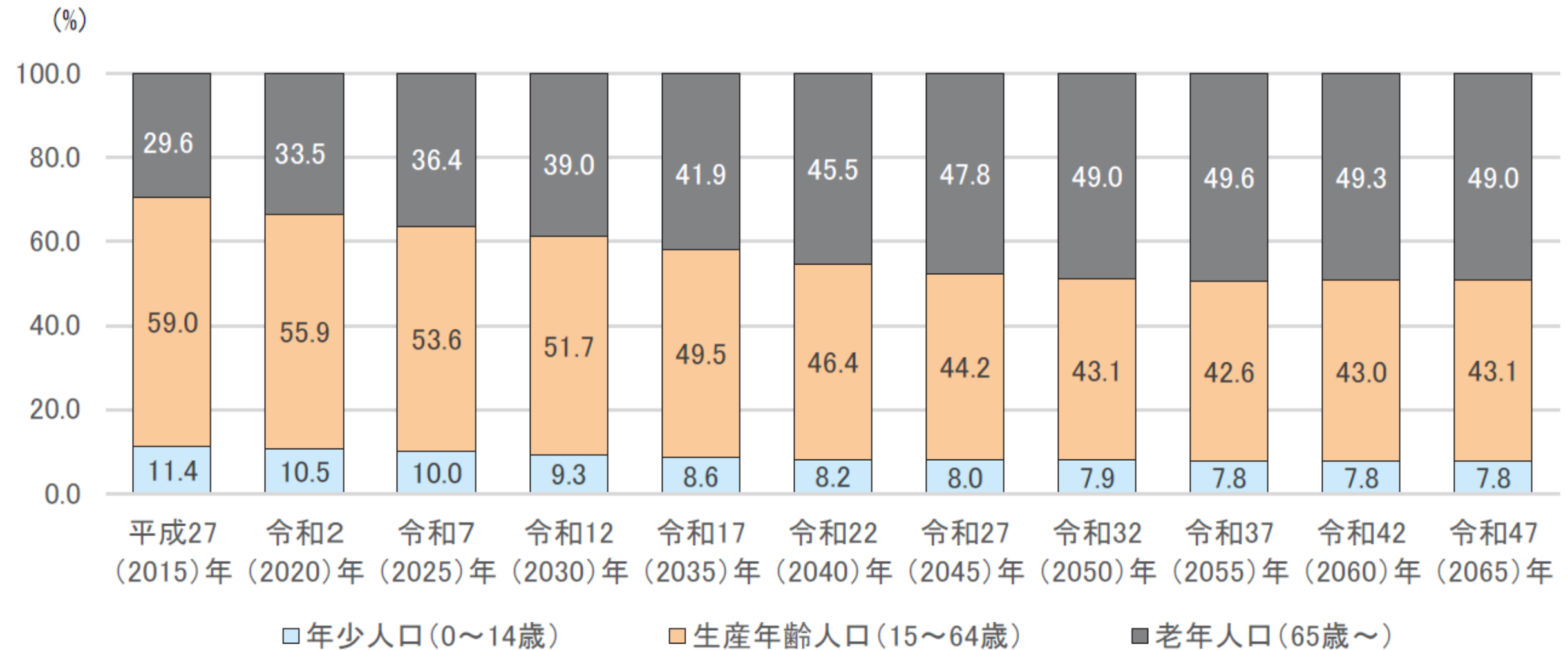


出典：常住人口調査のデータに基づき、コーホート要因法で推計

# 石岡市の課題 人口減少



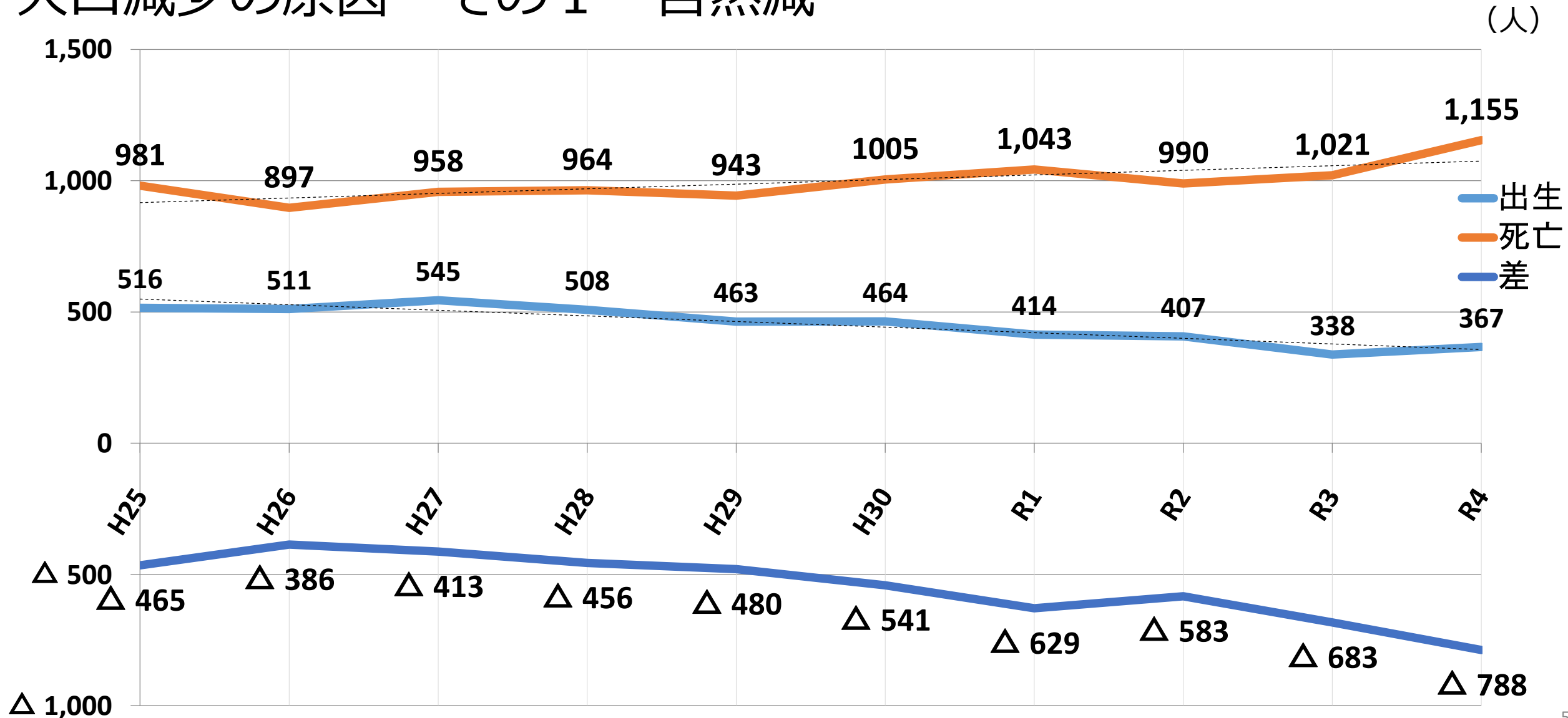
将来的に高齢者の割合は5割になる推計になっています。



出典：常住人口調査のデータに基づき、コーホート要因法で推計

# 石岡市の課題 人口減少

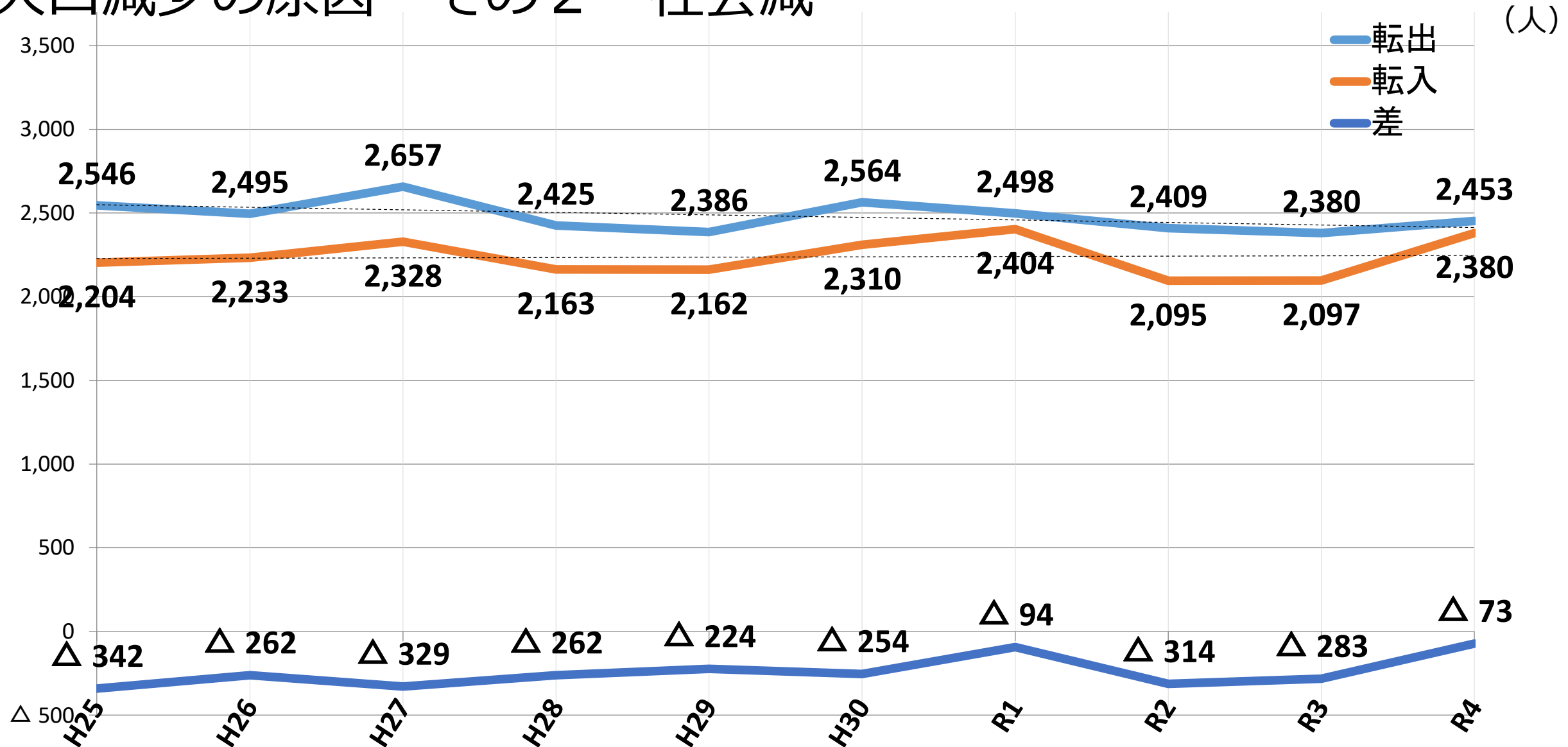
## 人口減少の原因 その1 自然減



# 石岡市の課題 人口減少



## 人口減少の原因 その2 社会減



※ちょっと参考

石岡市の外国人の比率  
は1.3%(R4.4.1)で上昇傾向

2070年には外国人が  
国全体で1割を占める  
との推計も

《参考》2022年の社会動態の状況 (人)

自治体名	属性	社会動態の状況		
		転入	転出	計
石岡市	移動者合計	2,139	2,292	△ 153
	日本人移動者	1,819	2,077	△ 258
	外国人移動者	320	215	105
かすみがうら市	移動者合計	1,852	1,543	309
	日本人移動者	1,266	1,286	△ 20
	外国人移動者	586	257	329
小美玉市	移動者合計	1,834	1,664	170
	日本人移動者	1,407	1,439	△ 32
	外国人移動者	427	225	202

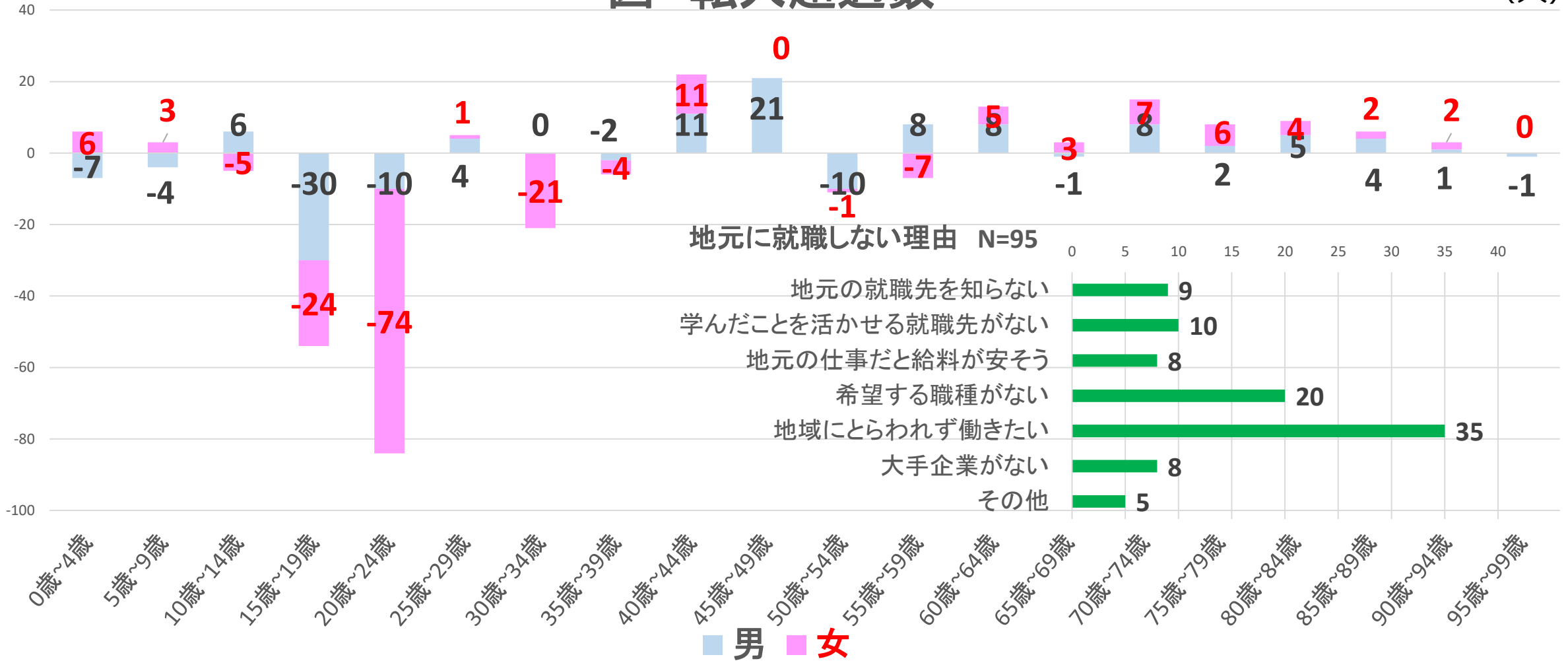
# 石岡市の課題 人口減少



※ちょっと参考  
(人)

## 図 転入超過数

(人)



出典：地元に就職しない理由についてはR4年度通学補助対象者アンケートから抜粋。





出生率が増える＝自然増になる

出生率が増える状況＝子育て世代に魅力的な街

子育て世代に魅力的な街＝転入者が増える

転入者が増える＝社会増になる

自然増と社会増の両方が増え、人口増につながる

# 出生率の減少

※合計特殊出生率の推移

昭和62年～ 昭和58年	昭和63年～ 平成4年	平成5年～ 平成9年	平成10年～ 平成14年	平成15年～ 平成19年	平成20年～ 平成24年	平成25年～ 平成29年
石岡市 1.85	石岡市 1.59	石岡市 1.53	石岡市 1.50	1.42	1.35	1.44
八郷町 1.87	八郷町 1.75	八郷町 1.65	八郷町 1.46			

# 全国的な課題 出生率の減少



茨城県 石岡市



全国的な状況として

**晩婚化（平均初婚年齢）**が進んでいます。

（妻の年齢1982年25.3歳から2021年27.6歳）

**1組の夫婦が産む子どもの数が減少**しています。

（1982年2.23人から2015年1.94人）

**未婚率（50歳時）**が増えています。

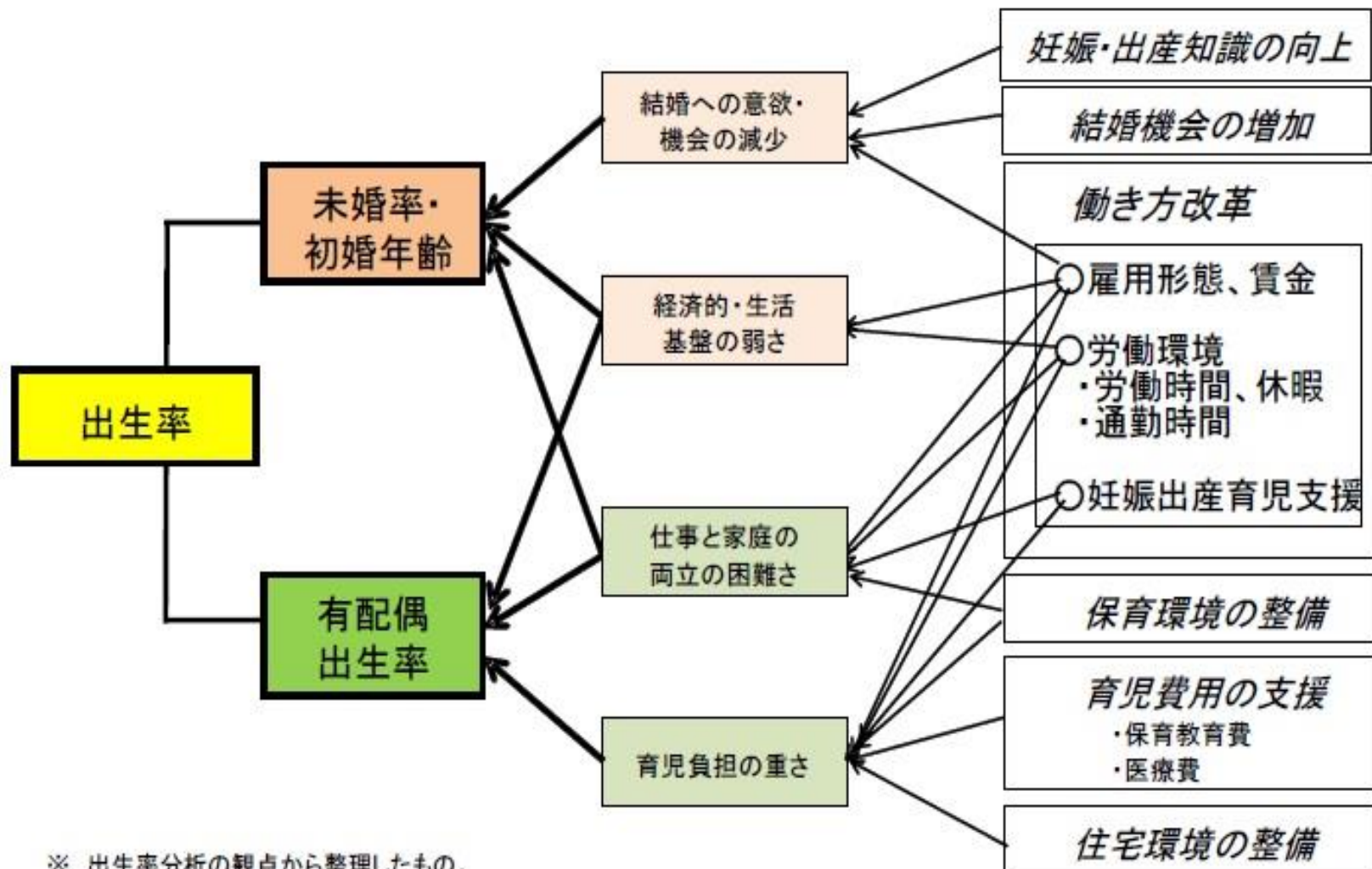
（1985年男性4.3%女性3.9%、2015年男性23.4%、女性14.1%

2040年では男性29.5%、女性18.7%になると言われる）

統計的には、結婚時の妻の年齢が若いほど、多くの子どもを持つ傾向にあり、晩産化が少子化の要因となっており、更にそもそも結婚する人が減っていることが石岡市のみではなく、全国的な人口減少の課題であると言えます。



## 出生率に影響を及ぼす諸要因—分析の観点—



# 客観的なデータ (全国約1700自治体における石岡市の順位)



茨城県 石岡市



## 【未婚率25～39歳】 (R2)

男性57.0%/455位 女性39.4%/603位

## 【初婚年齢】 (H30)

男性31.6歳/1,250位 女性29.0歳/747位

## 【出生順位ごとの母の平均年齢】 (H30)

第1子30.1歳/903位 第2子31.8歳/634位 第3子33.1歳/645位

## 【女性人口100人あたりの男性人口】 (R2)

25歳～29歳 121.5人/476位 30歳～34歳 114.3人/534位 35歳～39歳 113.2人/396位

## 【合計特殊出生率】

第1子 0.54/1,301位 (H30)

三世代世帯の割合 18歳未満児27.6%/535位 (R2)

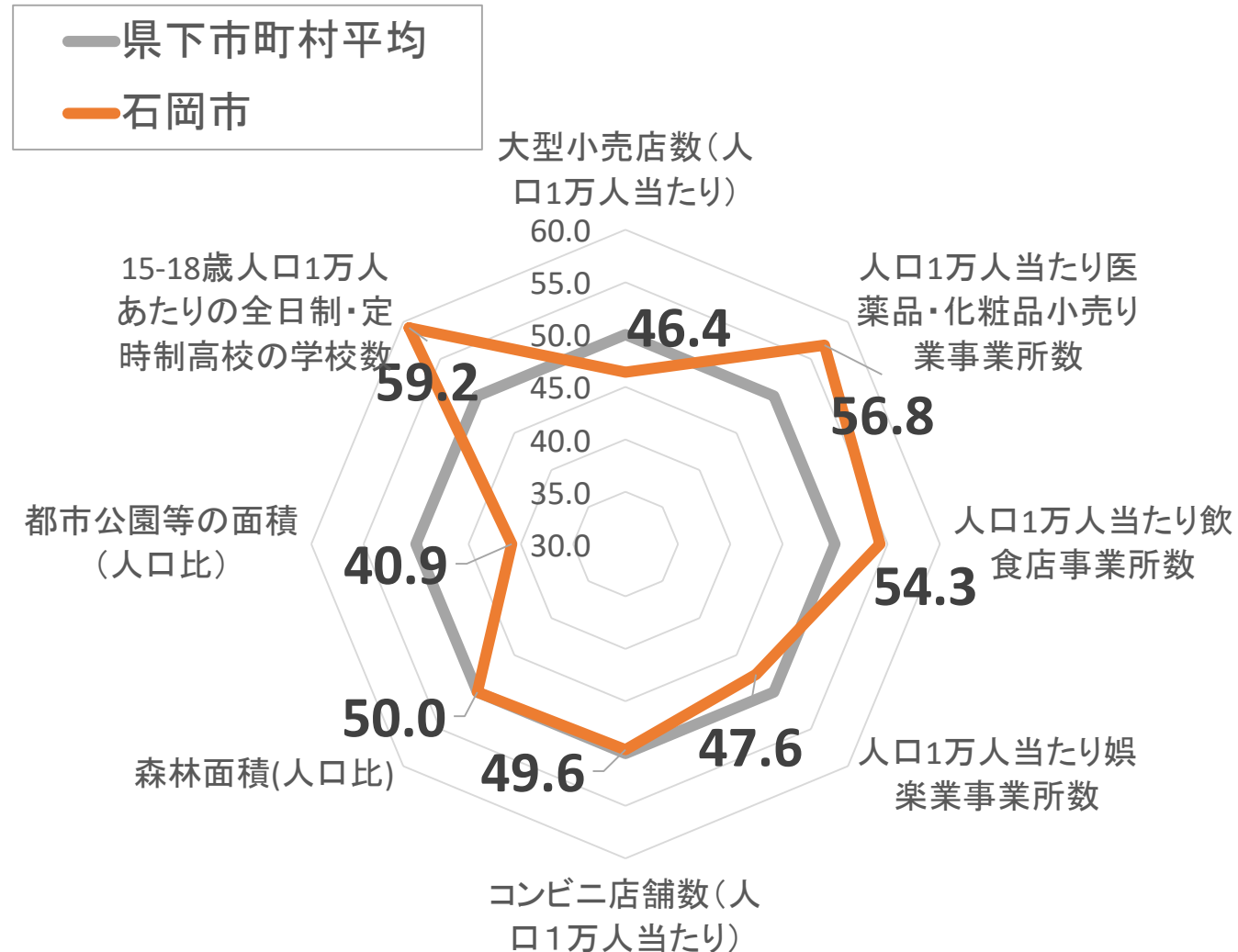
一人親世帯の割合 18歳未満児6.1%/772位 (R2)

第2子 0.58/657位 (H30)

第3子以降 0.32/780位 (H30)

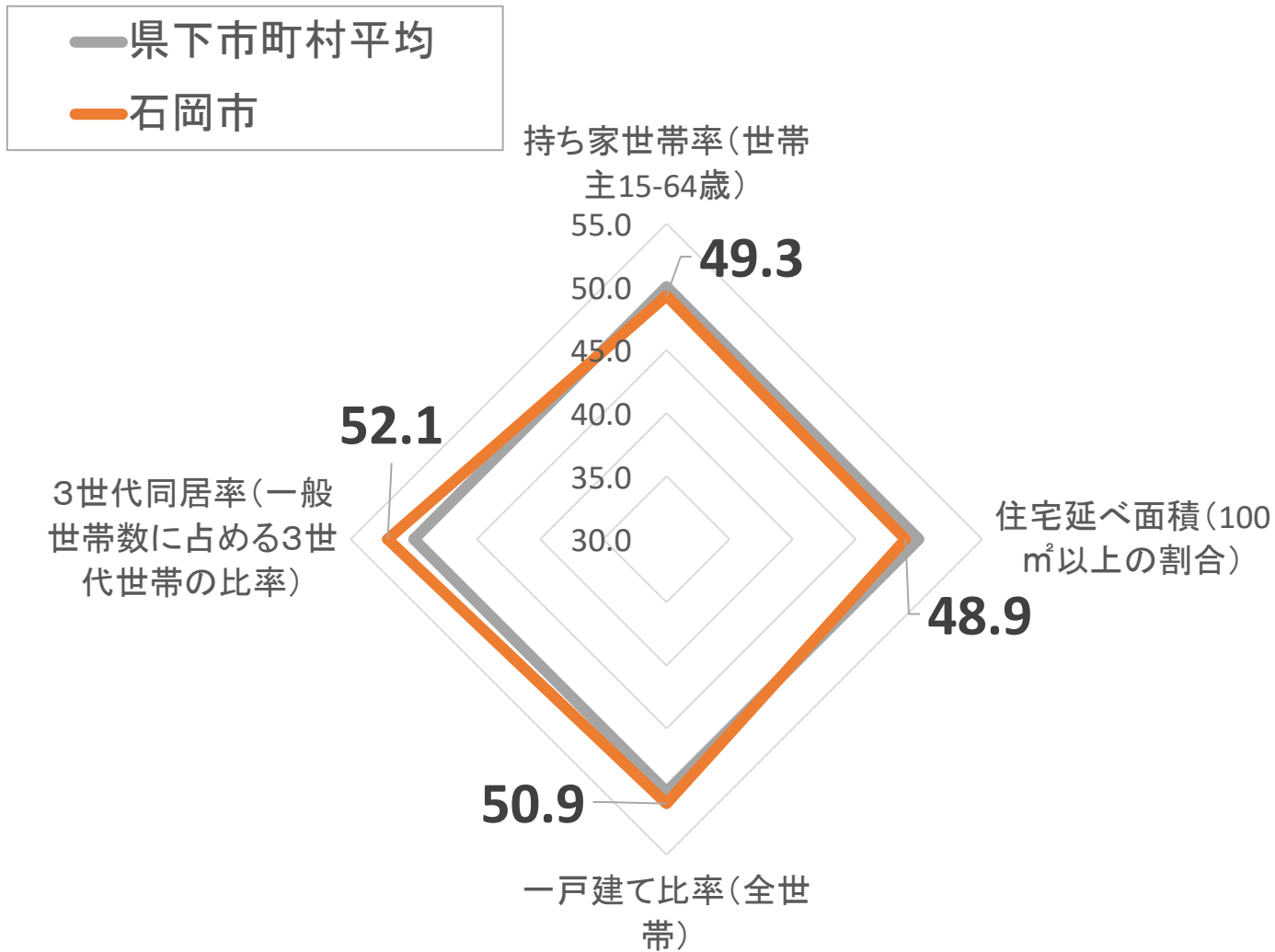
出生数に占める第3子以降の割合 22.1%/705位

# 客観的なデータ (県内市町村平均と石岡市の比較偏差値)



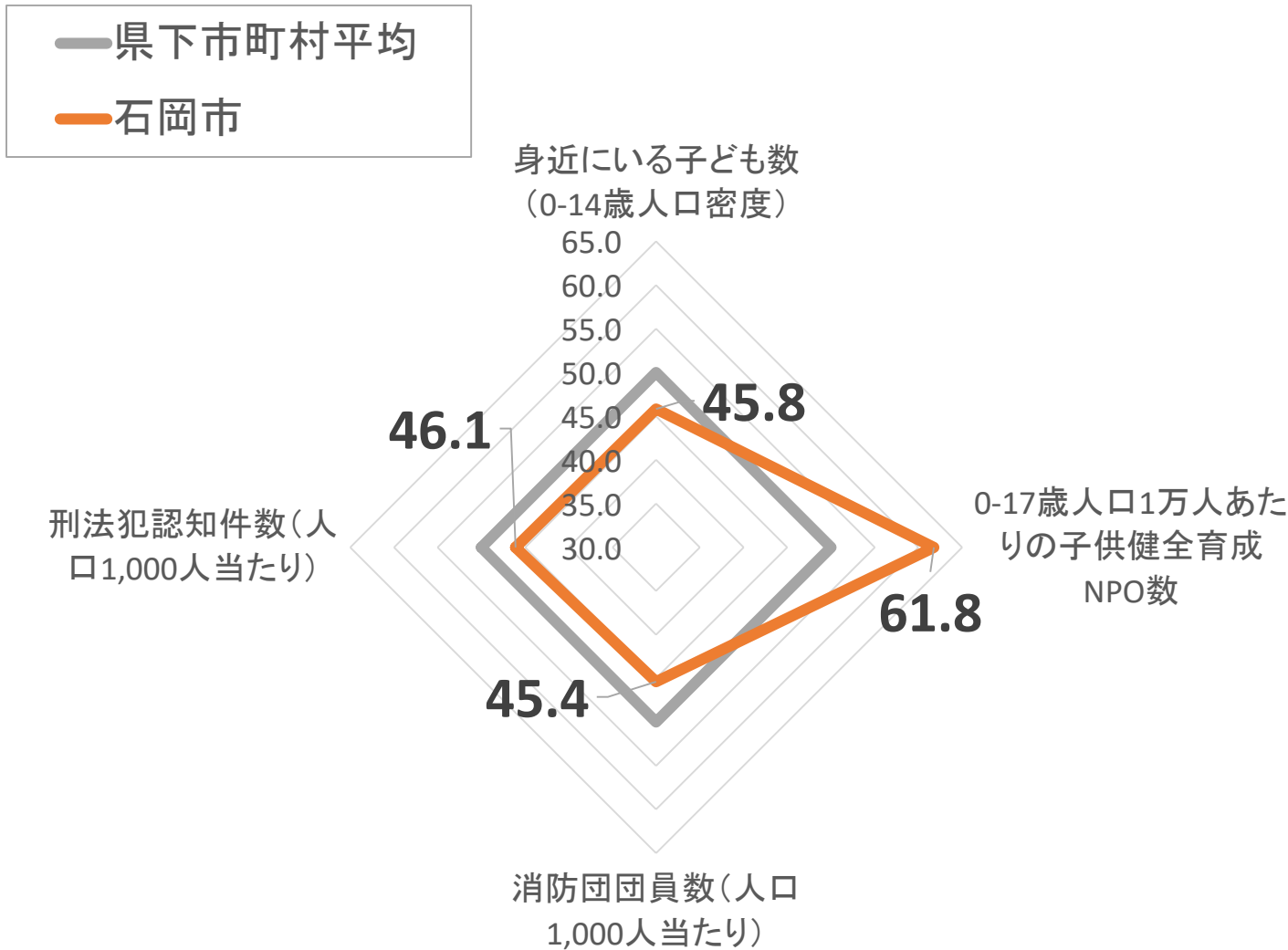
- ・大型小売店、娯楽業事業所数は平均よりも少ない。人口当たりの高校数は多いため、この需要を活かし切れてないのではないかな。
- ・都市公園面積は平均よりも低いものの、八郷地区には豊かな自然があり、生活環境は優れている。
- ・衣料品・化粧品の小売、飲食店は平均よりも高い、隣接の小美玉市が平均よりもかなり低く、小美玉市の需要を取り込んでいるのではないかな。
- ・コンビニが多く、生活に不便が無い。
- ・都市公園面積は高いが、徒歩で行ける範囲に公園がない。子育て世代は公園に遊具を求めているのでは？
- ・専門学校はあるものの、大学がないため学生が少ない。
- ・イオンのような大型ショッピングモールがない。

# 客観的なデータ (県内市町村平均と石岡市の比較偏差値)



- ・概ね平均的
- ・3世代同居率は平均よりもやや高い
- ・3世代がまるごと移住する施策が必要では。
- ・年をとると気軽に引っ越しできない。親世代は石岡市にいたので、子世代が石岡市に戻ってきてやすい施策が必要では。戻ってくるきっかけづくりが大切。
- ・石岡市は生活に不便せず、医療についても土浦市・つくば市がある。悪くはない。学校もそれなりにあり、働きやすい環境。
- ・家と土地はいっぱいあるので貸家や空き家バンクを活用。空き家バンクも登録するとすぐ売れる。
- ・土地の値段が石岡市は安い。
- ・新築補助が移住・定住に大きな効果がある。
- ・建築するにも規制がある。

# 客観的なデータ (県内市町村平均と石岡市の比較偏差値)



・平均よりも低い指標が多いものの、子供健全育成を目的としたNPO数は平均を大きく上回っている。(活動の中身は不明)

・子どもの少なさ、若者の少なさ消防団員数にも表れている。

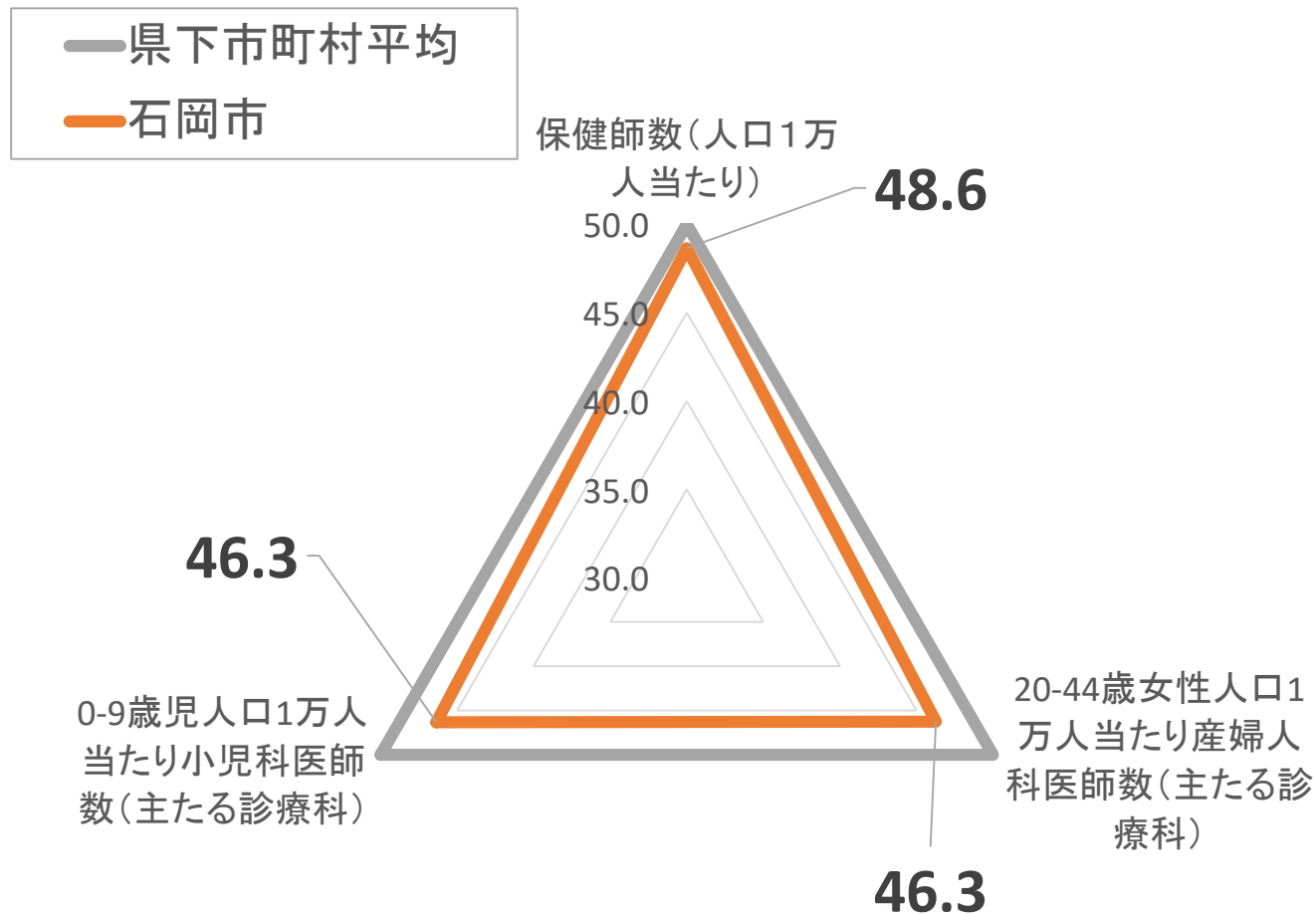
・就労時間の増加や通勤時間もあり、近所に誰がいるかもわからなくなった。

## NPOの名称

- 敷島の会
- 茨城教育ネットワーク
- まちづくり市民会議
- 常陸國地域振興フォーラム
- シャローム
- NPO石岡総合スポーツクラブ
- まいえの里
- 日本パラグライダー協会
- アグリやさと
- アスレティッククラブいしおか
- NPO法人茨城県食育協会
- どんぐりころころ
- international personal development
- つむぎつくば

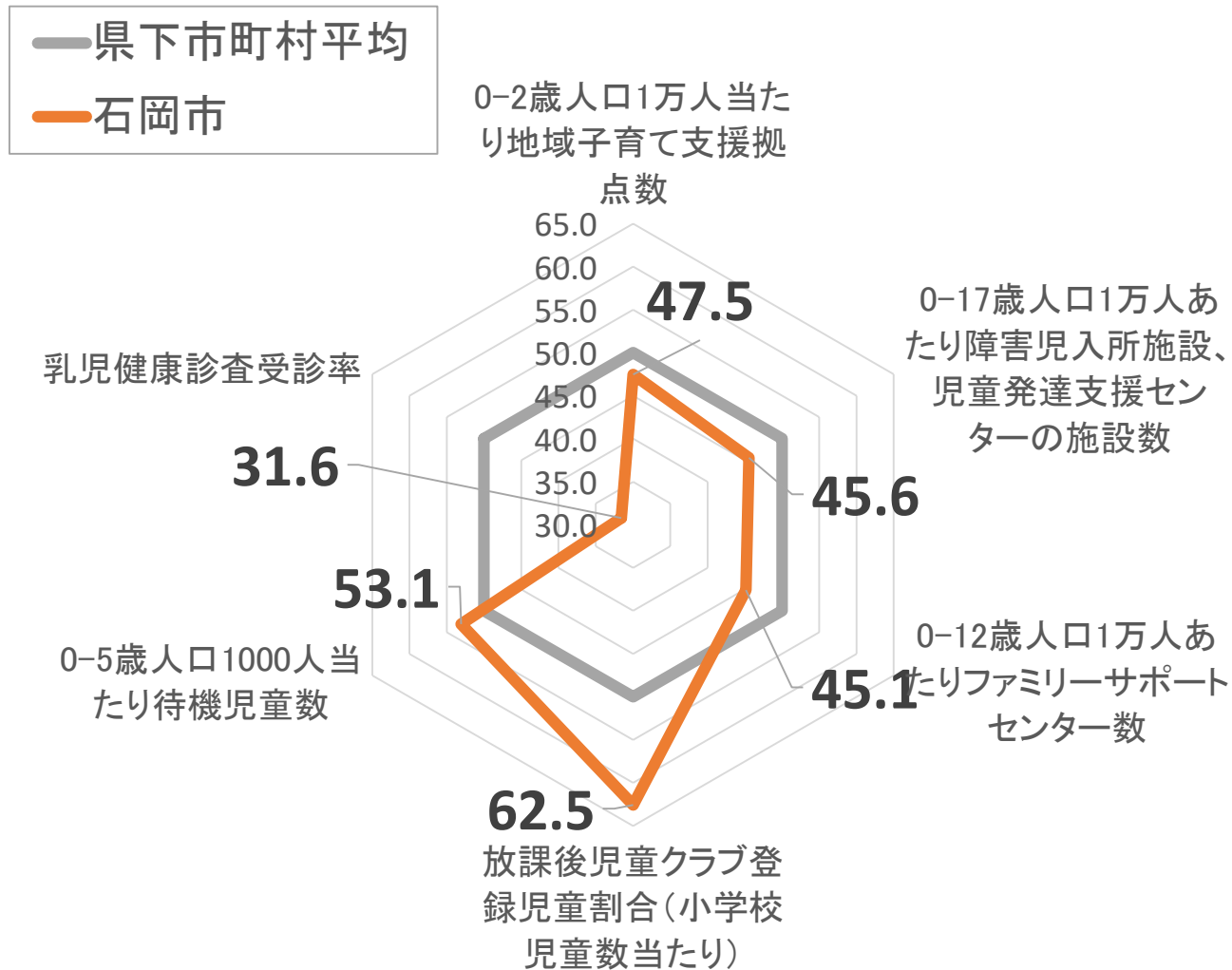


# 客観的なデータ (県内市町村平均と石岡市の比較偏差値)



- ・関係指標は全て平均よりも低いが、医療は広域で考える部分もある。土浦医療圏に属し、他市医療機関と連携している。
- ・救急以外で自家用車や交通手段があれば、近隣の医療機関に通院できる。

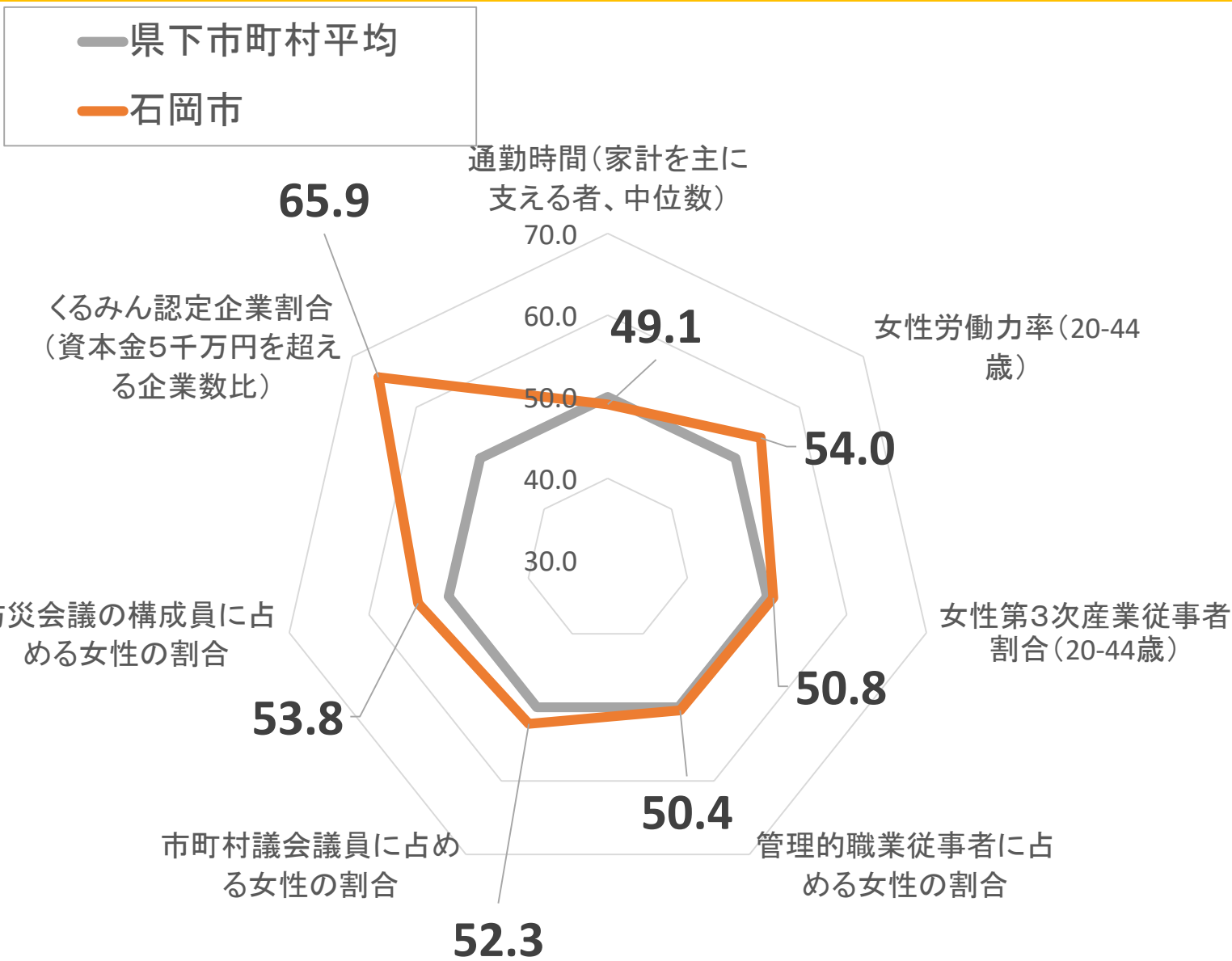
# 客観的なデータ (県内市町村平均と石岡市の比較偏差値)



- ・子育て支援に関するハード整備は他自治体よりも低い傾向。児童館・児童センターは一部の児童しか通えない。
- ・放課後児童クラブの指標は高く、多くの児童が利用している。就労している人は多いが課税所得者が少ない。
- ・第2子、第3子のために、戻ってきやすい環境のために教育を売りにする。(教育移住)
- ・子育ての負担と両親の手助けを求めてUターンを検討する人にとって、その決断を後押しするようなきっかけ(政策)があるとよい(例えば、それが特色ある教育)
- ・平日、学校終わってからの子どもの居場所づくり。放課後の居場所で特色を。(学童でも教育を⇒放課後子ども教室の充実。誰でも参加可能に)
- ・インターナショナルスクール等の特色ある民間保育園の誘致。

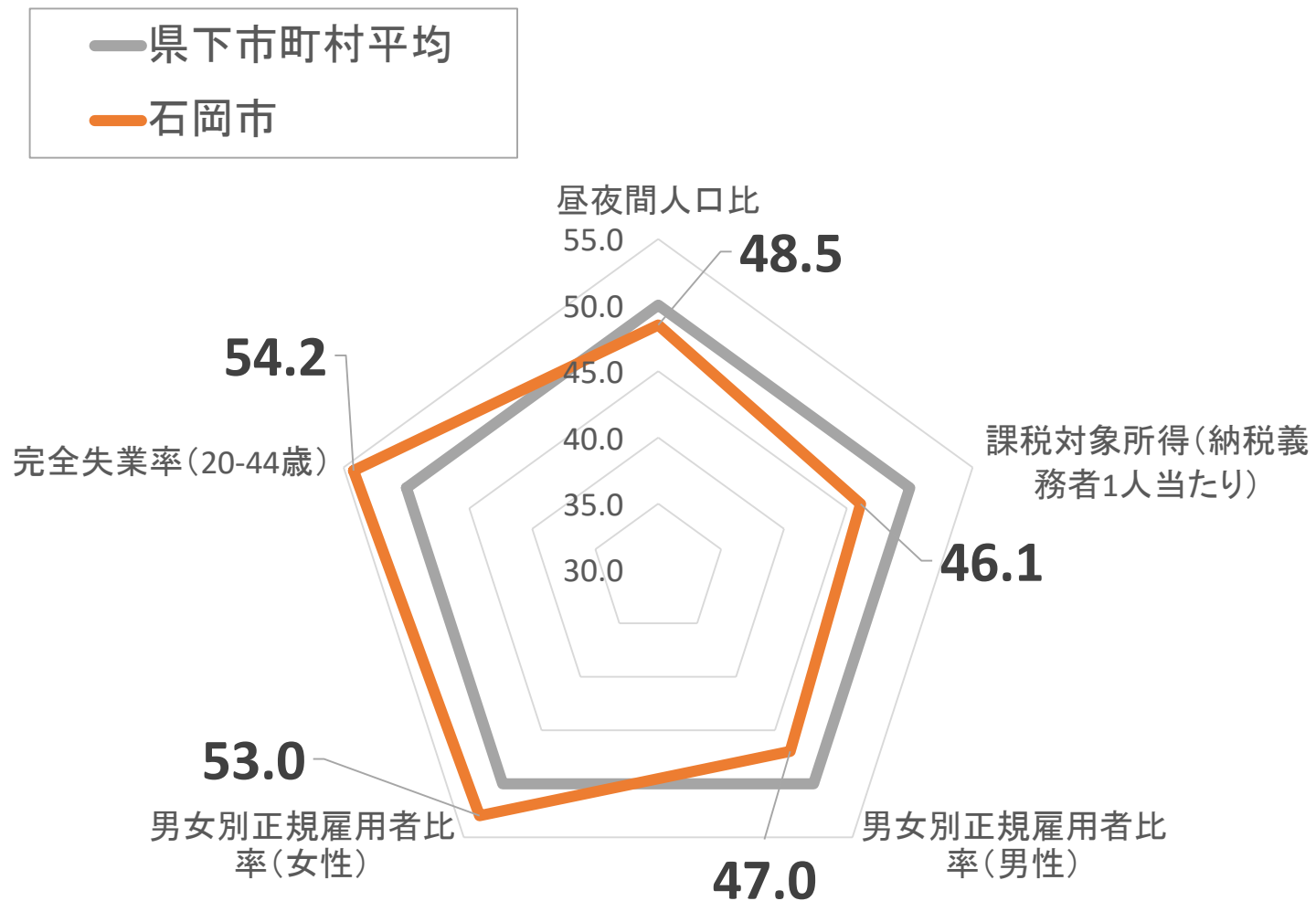
※乳児健康診査(2回目:9~11カ月)の受診率(令和3年度母子保健事業実施状況調査)が低い。3~4カ月を独自で乳幼児健診を行っており、そこでカバーしている。心配がある人は、乳幼児健康診査2回目によくように指導している。また、1歳児健康相談をやっており、フォローは十分。

# 客観的なデータ (県内市町村平均と石岡市の比較偏差値)



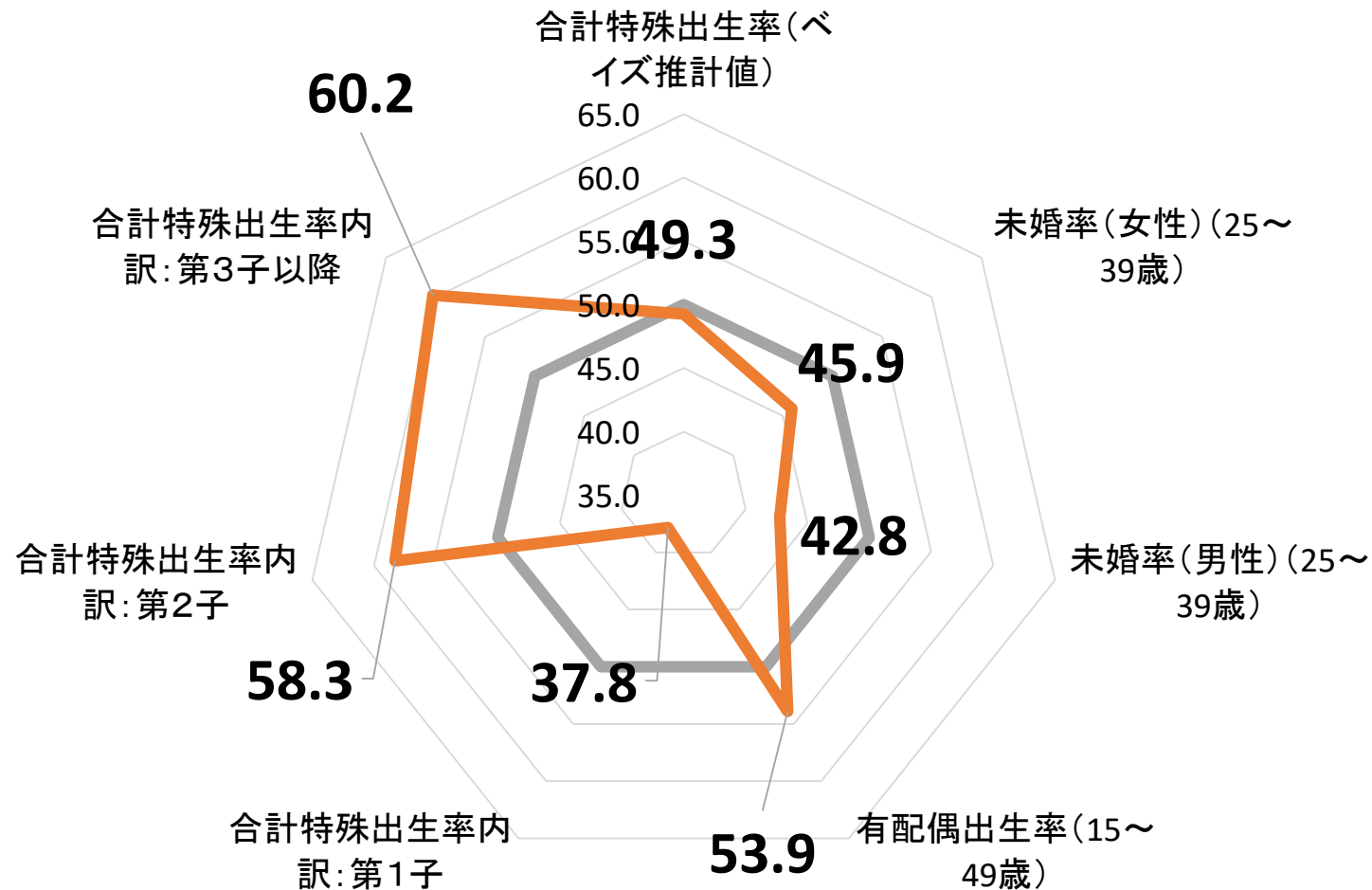
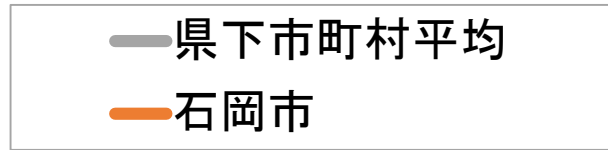
- ・平均以上の指標が多い。
- ・特にくるみん認定企業割合が高い。しかし、県全体で少ないため参考にならない。トライくるみん制度ができたので認定ハードルがさがってくるのでは。
- ・女性の社会進出に伴い男性の子育て参加のしやすい環境づくりが必要。

# 客観的なデータ (県内市町村平均と石岡市の比較偏差値)



- ・失業率は低く、女性の正規雇用者も平均よりも高い。一次産業や自営業の割合がたかく、正規雇用者でありながら所得が低いのではないか。
- ・1人当たりの課税対象所得は低い

# 客観的なデータ (県内市町村平均と石岡市の比較偏差値)



・第2子・第3子の合計特殊出生率は高い。また、有配偶出生率も高い。第1子を石岡市で産む人が少なく、第1子を持って石岡市へ転入、第2子・第3子を産むという形ではないか。

・①進学や就職などを機に、未婚のうちに市外へ出ていき結婚、第1子出産を経験する。②その後、2人以上の子育てとなると、負担を考えて両親を頼り石岡へ戻ってくるケースが多い。③一方で未婚、デINKスは手助けが必要ないため市外での生活を継続する。

・移住先候補として石岡市の知名度はさほど高くないのが現状であるため、全くの新規移住者ではなく、人口増の施策のターゲットは「石岡市の住み良さを知っている、子あり夫婦」(いわゆるUターン移住)として施策を進めるのはいかがか。



「一生結婚するつもりはないと考える18歳～34歳の未婚者割合は右肩上がりで上昇  
(男性17.3%/前回12.0%、女性14.6%/前回8.0%)

結婚相手の条件で、男性は女性の経済力を重視及び考慮 (48.2%/前回41.9%)

1位：人柄 2位：家事育児能力・姿勢 3位：仕事の理解協力 4位：容姿 5位：共通の趣味

結婚相手の条件で、女性は、男性の家事育児の能力・姿勢を重視 (70.2%/前回57.7%)

容姿を重視及び考慮する傾向が右肩上がり (81.3%/前回77.7%)

1位：人柄 2位：家事育児能力・姿勢 3位：仕事の理解協力 4位：経済力 5位：容姿

SNSやマッチングアプリ等のネットサービスで知り合った恋人がいる割合は男性11.9%、女性17.9%

1位は学校 (男性30.1%、女性26.8%) 2位は友人・兄弟姉妹 (男性18.0%、女性17.3%)

未婚者は子どもとのふれあい頻度、友人の結婚に対する肯定的評価が低い。女性は特に低い方が未婚者である。  
子どもとのふれあい体験、周囲の結婚を肯定的に捉えている未婚者は結婚意欲が高い。

# 客観的なデータ (結婚と出産に関する全国調査より)



夫と妻の平均知り合い年齢は横ばい (男性26.4歳、女性24.9歳) 結婚までの平均交際期間は4.3年

平均の希望子ども数は減少 (男性1.82人/前回1.91人、女性1.79人/前回2.02人)

男女とも年齢があがるほど顕著に減少 (女性では20～24歳：1.89人、30～34歳：1.5人)

理想の数の子どもを持たない理由は、1位「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(52.6%)だが減少傾向、2位「高年齢で産むのがいやだから」(40.4%)、3位「ほしいけどできない」(23.9%)、4位「育児の心理的肉体的負担に耐えられない」(23.0%)、5位「健康上の理由」(17.4%)となり、2～5位まで上昇傾向。

妻の年齢35歳以上では、全体順位はかわらないが「高年齢で産むのがいやだから」が急上昇

不妊の検査・治療を受けたことのある夫婦は18.2%から22.7%に増加

SNSやマッチングアプリ等のネットサービスで知り合った夫婦の結婚が全体の13.6%

夫の家事育児頻度は、上昇 日常的・ひんぱんに家事する割合 (48.8%/前回41.8%)

日常的・ひんぱんに育児する割合 (64.4%/前回57.2%)

乳幼児を育てる夫婦の6割が子の祖母の手助けを受けている。祖父も3割程度が受けている。

妻または夫の両親と同居あるは近居 (同じ市町村で別居) している割合は25歳未満の除くと3～4割程度



## ①子育て世代アンケート

対象：大学生までの子どもを持つ方

## ②高校生アンケート

対象：市内の高校生、市内の高校に通う高校生

## ③保育と教育に関するアンケート

対象：市内で保育と教育に係る保育士・教師等

## ④職員アンケート

対象：結婚経験のない未婚の市職員

～子育て世代に魅力的な街を目指して～  
アンケート調査にご協力ください。

### ① 子育て世代アンケート

対象：大学生までの子どもを持つ方

回答期限：7月23日(日)

アンケートは右の二次元コード  
または、下記のURLから  
ご回答ください。



[https://apply.e-tumo.jp/city-ishioka-ibaraki-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=43818](https://apply.e-tumo.jp/city-ishioka-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=43818)

### ② 高校生アンケート

対象：市内の高校生  
市内の高校に通う高校生

回答期限：7月23日(日)

アンケートは右の二次元コード  
または、下記のURLから  
ご回答ください。

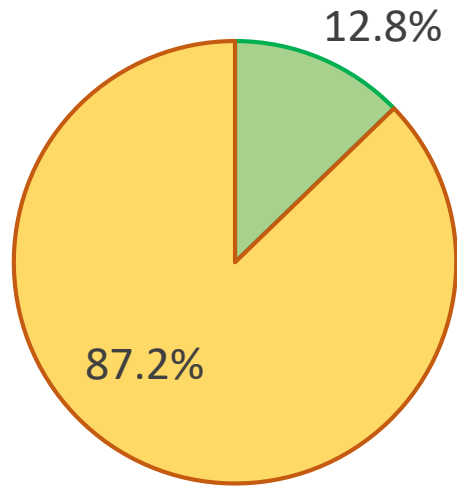




# 子育て世代アンケート結果

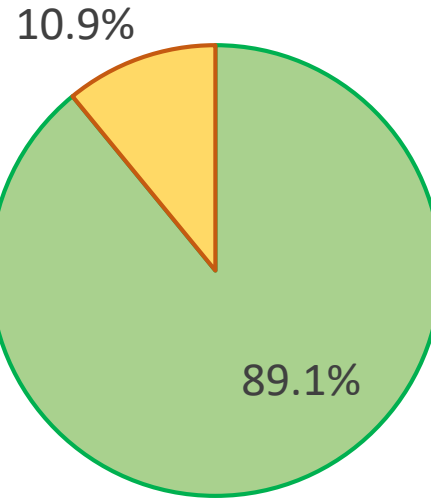
回答者数439人  
平均43.1歳 28歳～59歳

回答者の属性



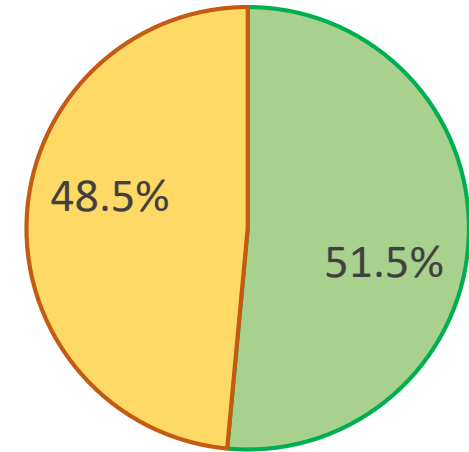
■ 父親 ■ 母親

回答者の属性



■ 配偶者いる ■ 配偶者いない

子どものころ石岡市に住んでいたか



■ はい ■ いいえ

※いいえを選択した213人の内  
「配偶者のふるさとだから」「家族や親せきが近くにいるから」「親族が近くに住んでおり子育てのサポートを得られるから」を選択した方が122人 57%

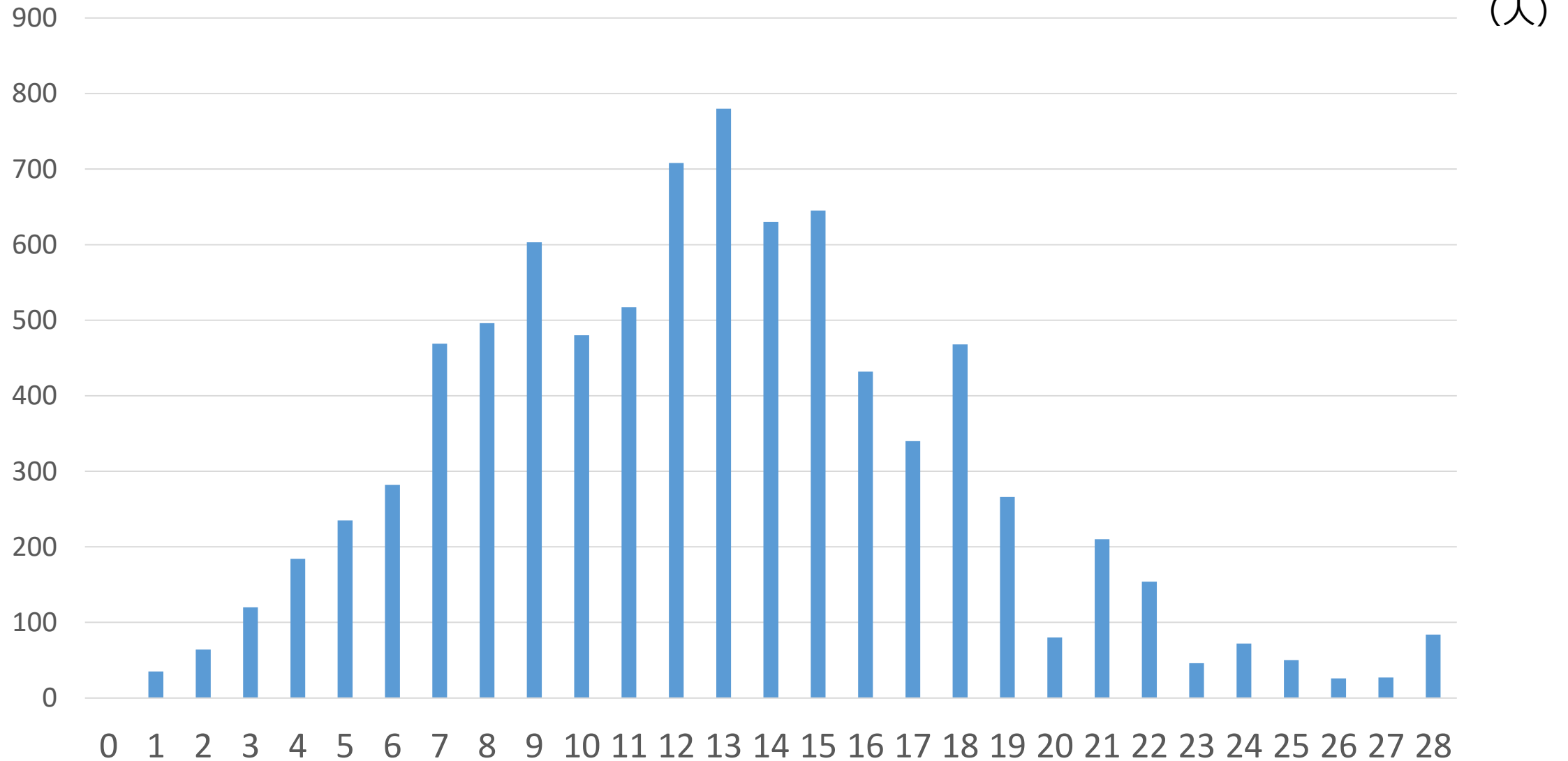
# 子育て世代アンケート結果



茨城県 石岡市



回答者のお子さんの年齢



# 子育て世代アンケート結果

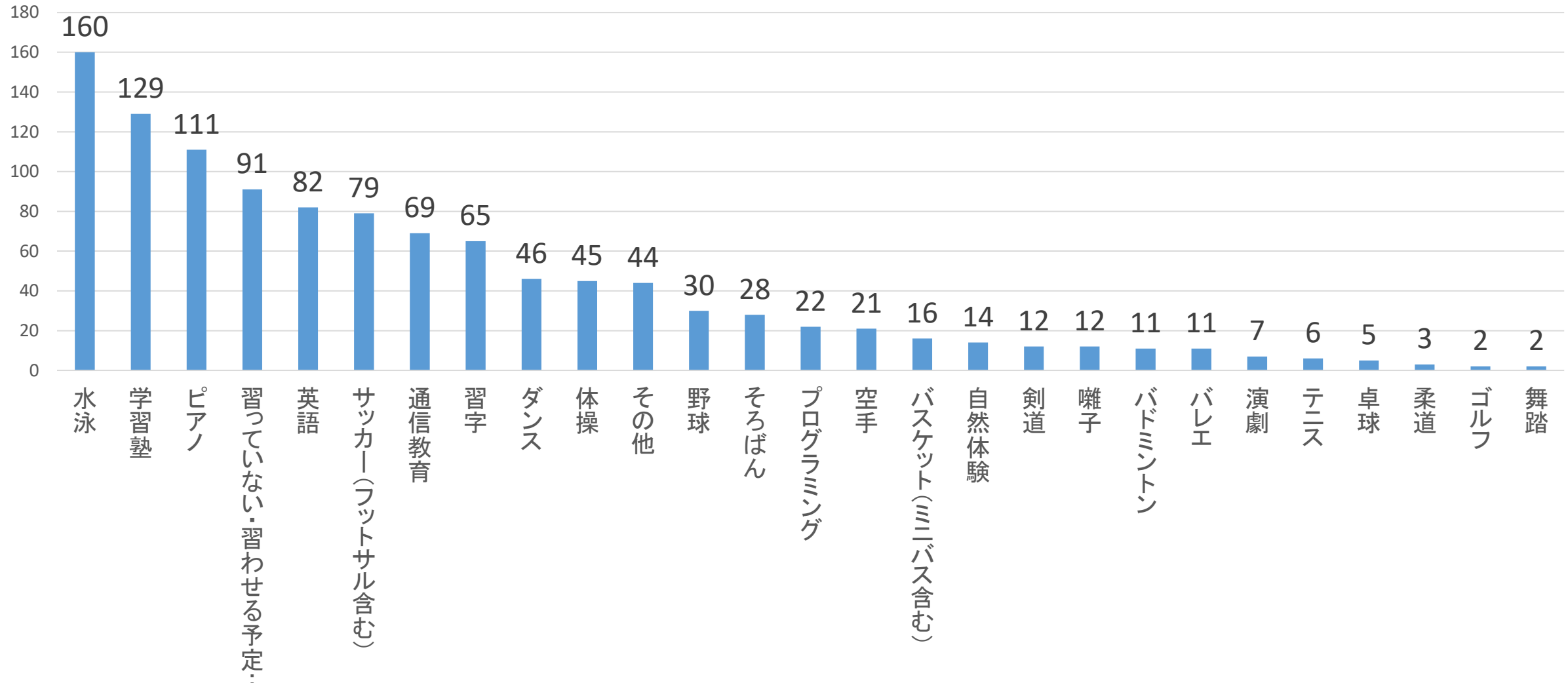


茨城県 石岡市



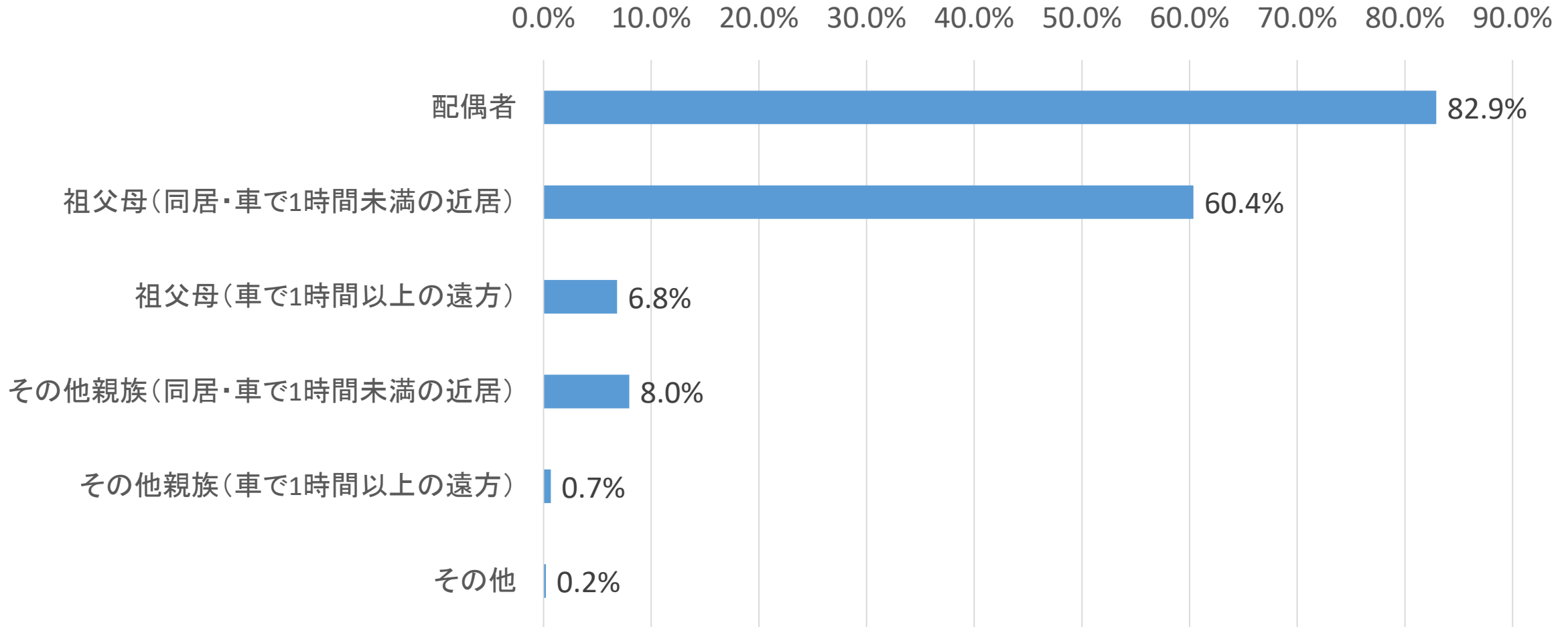
## 習わせたい・習っている課外活動について

(人)



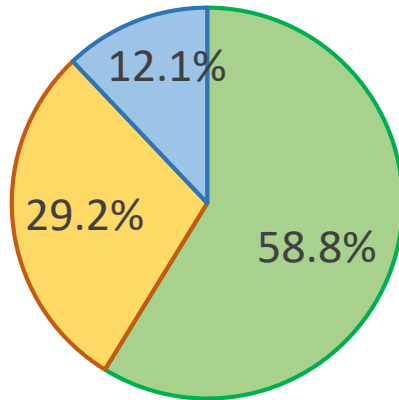
# 子育て世代アンケート結果

育児に参加している方



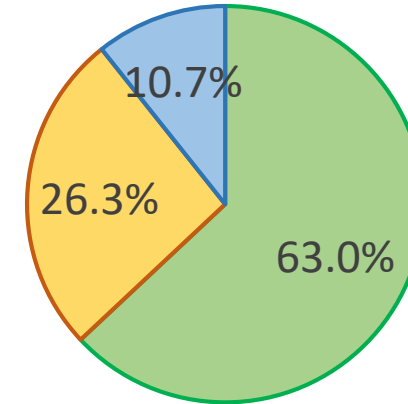
# 子育て世代アンケート結果

住んでいた自治体(第1子妊娠時)



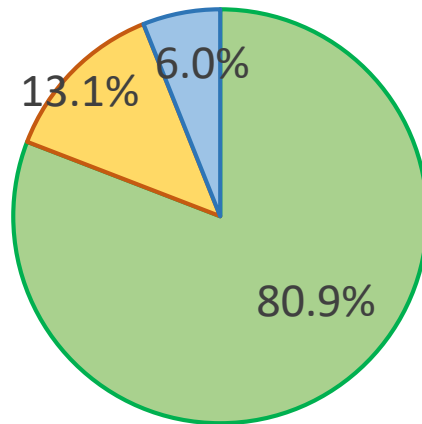
■石岡市 ■県内(土浦市32、小美玉市18、つくば市13、かすみがうら市9など) ■県外

(第1子出生時)



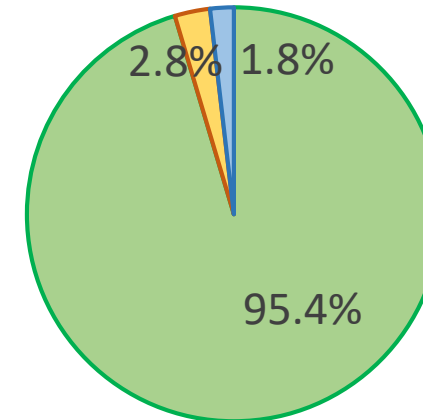
■石岡市 ■県内(土浦市21、小美玉市15、かすみがうら市14、つくば市10など) ■県外

(第1子幼稚園/保育園入園時)



■石岡市 ■県内 ■県外

(第1子小学校入学時)

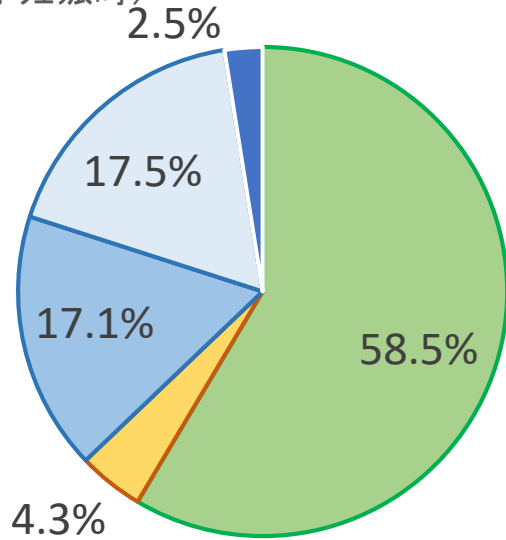


■石岡市 ■県内 ■県外

# 子育て世代アンケート結果

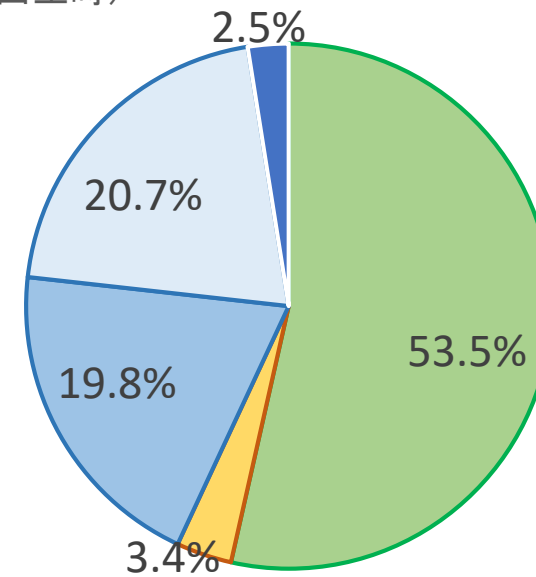


住んでいた住居(第1子妊娠時)



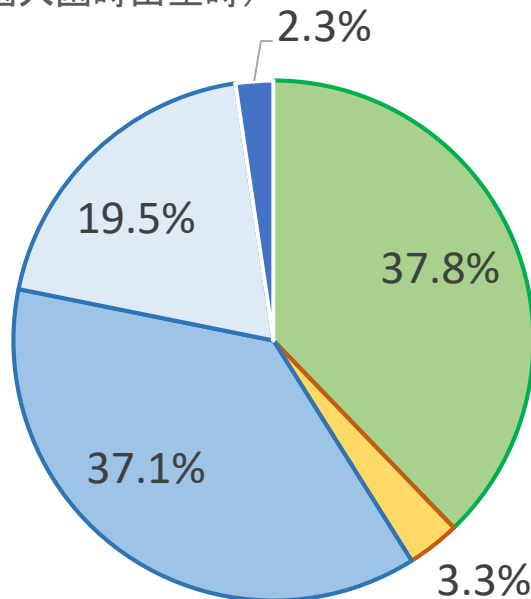
- アパート
- マンション
- 戸建て住宅(自身や配偶者、双方の共有名義含む)
- 戸建て住宅(親族等、他人名義)
- その他(社宅等)

(第1子出生時)



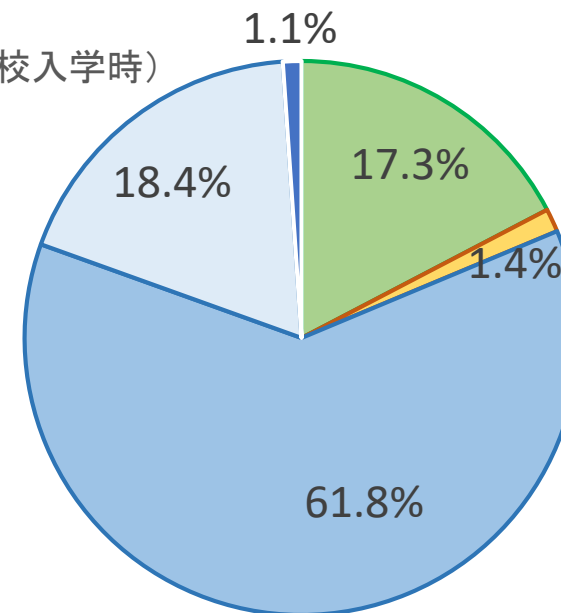
- アパート
- マンション
- 戸建て住宅(自身や配偶者、双方の共有名義含む)
- 戸建て住宅(親族等、他人名義)
- その他(社宅等)

(第1子幼稚園/保育園入園時出生時)



- アパート
- マンション
- 戸建て住宅(自身や配偶者、双方の共有名義含む)
- 戸建て住宅(親族等、他人名義)
- その他

(第1子小学校入学時)

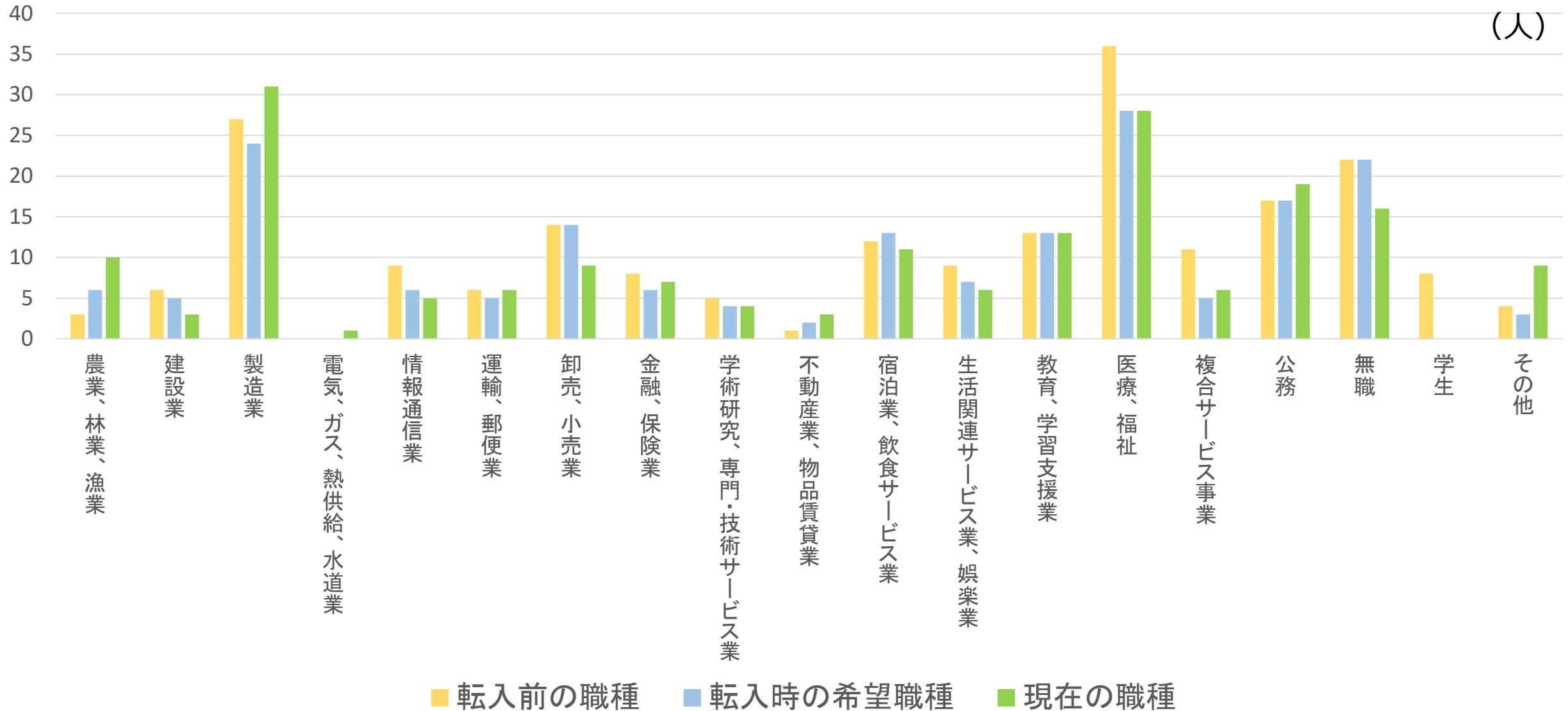


- アパート
- マンション
- 戸建て住宅(自身や配偶者、双方の共有名義含む)
- 戸建て住宅(親族等、他人名義)
- その他

# 子育て世代アンケート結果

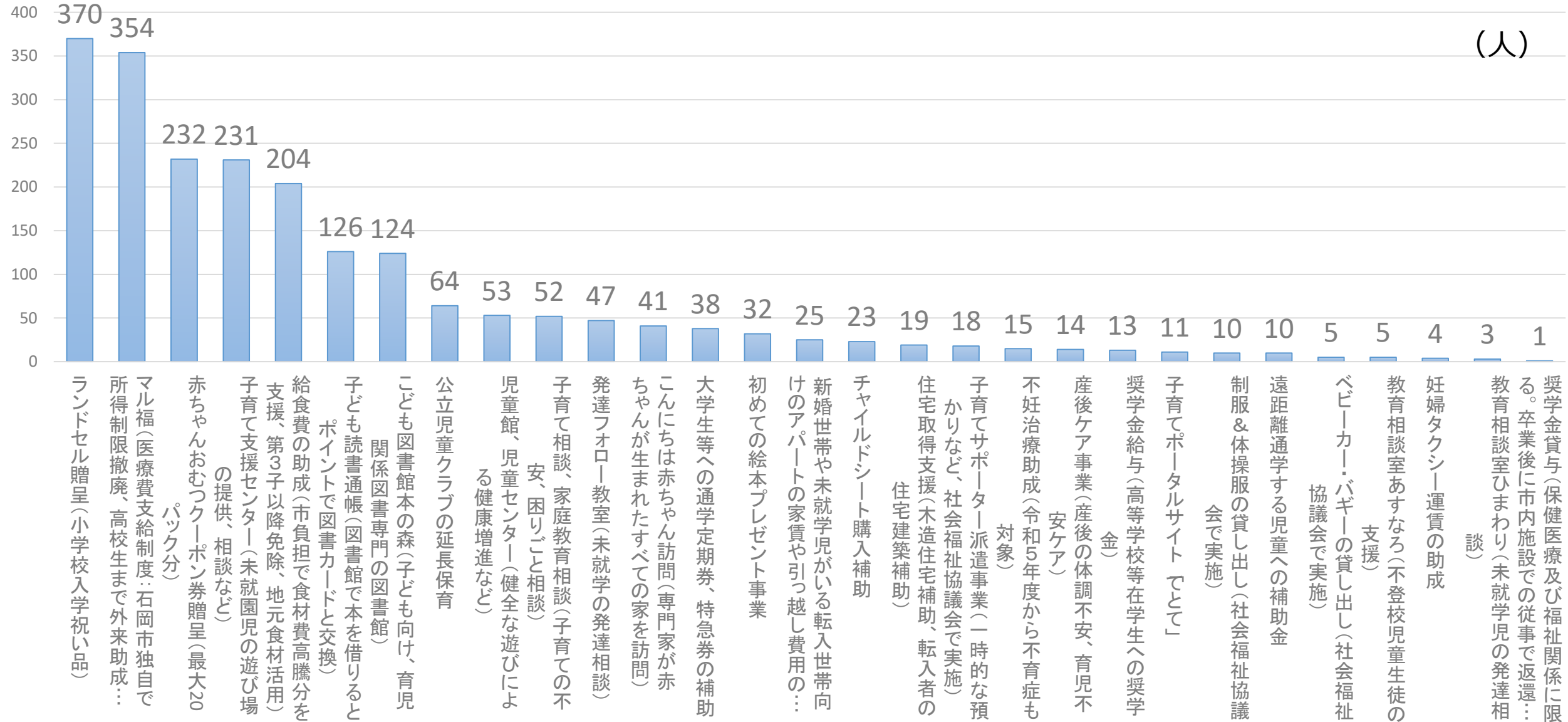


## 職業について



# 子育て世代アンケート結果

## 石岡市の良かったサービス

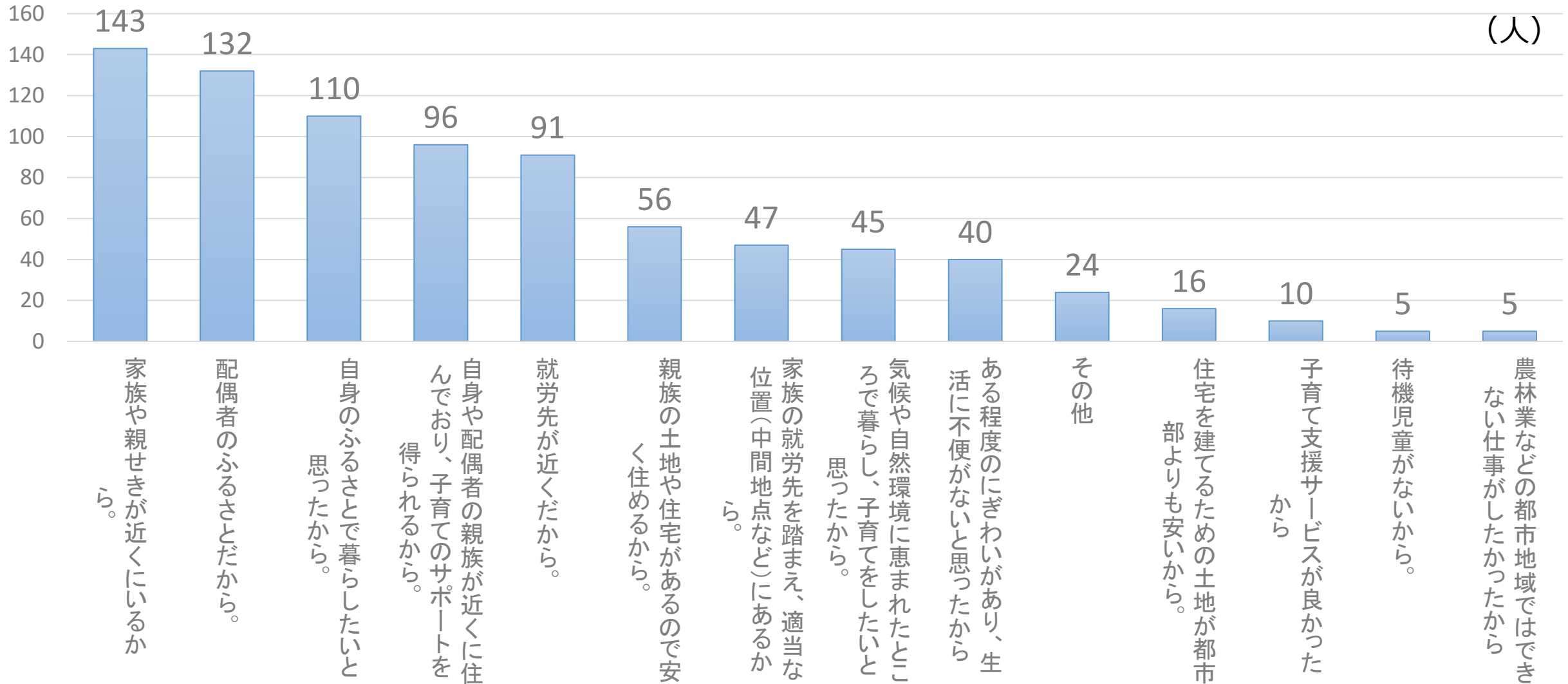




# 子育て世代アンケート結果



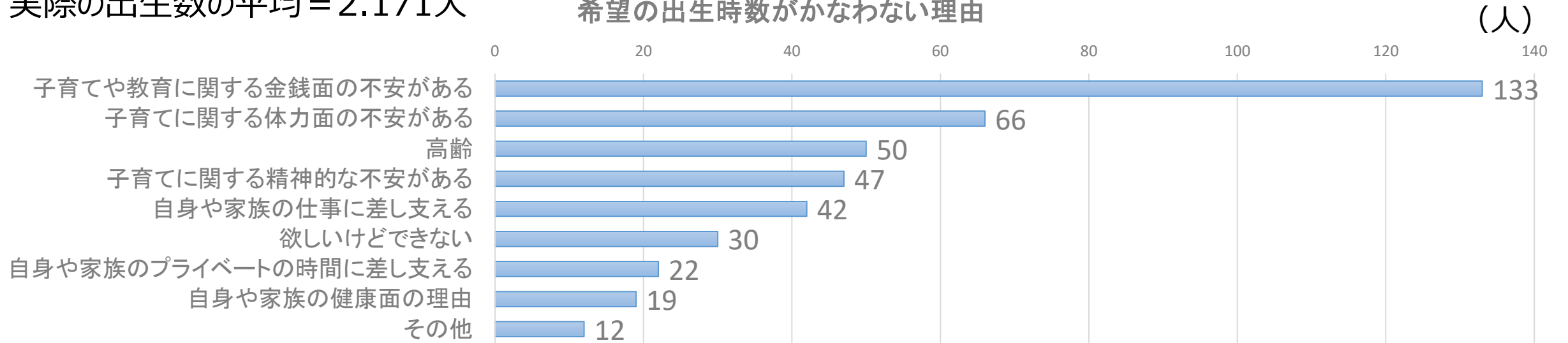
## 石岡市に住んでいる理由



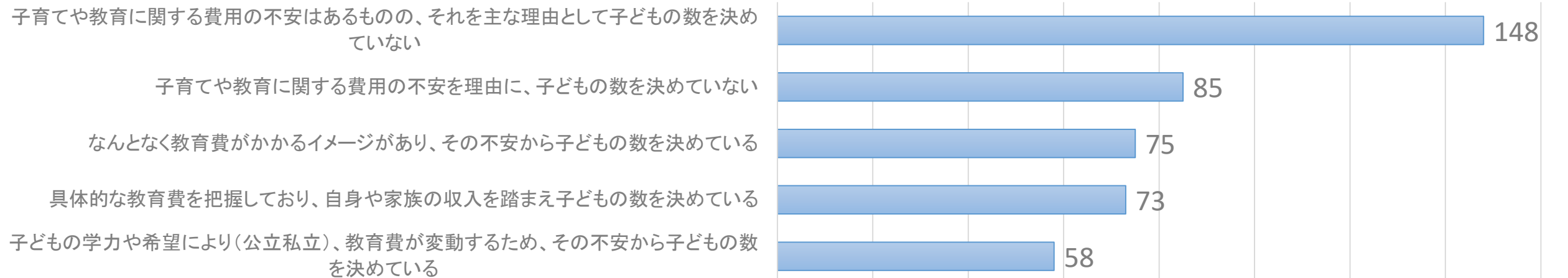
# 子育て世代アンケート結果

希望の出生数の平均 = 2.556人  
実際の出生数の平均 = 2.171人

### 希望の出生時数がかなわない理由



### 子育てや教育に関する費用と子どもの数の関係



# 子育て世代アンケート結果



茨城県 石岡市



第一子出産年齢と希望出生数が叶わない理由	20代前半 以下	20代後半	30代前半	30代後半	40代	総計
高齢だから	2.9%	8.0%	13.1%	28.9%	35.7%	12.3%
子育てに関する精神的な不安があるから	17.4%	9.6%	12.4%	6.7%	0.0%	11.3%
子育てに関する体力面の不安があるから	11.6%	14.4%	19.6%	17.8%	14.3%	16.3%
子育てや教育に関する金銭面の不安があるから	40.6%	40.0%	28.8%	15.6%	21.4%	32.5%
自身や家族のプライベートの時間に差し支えるから	10.1%	4.0%	5.9%	2.2%	0.0%	5.4%
自身や家族の健康面の理由から	4.3%	4.0%	3.9%	8.9%	0.0%	4.4%
自身や家族の仕事に差し支えるから	11.6%	15.2%	7.8%	4.4%	7.1%	10.3%
欲しいけど授かれなかったから	1.4%	4.8%	8.5%	15.6%	21.4%	7.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

# 子育て世代アンケート結果

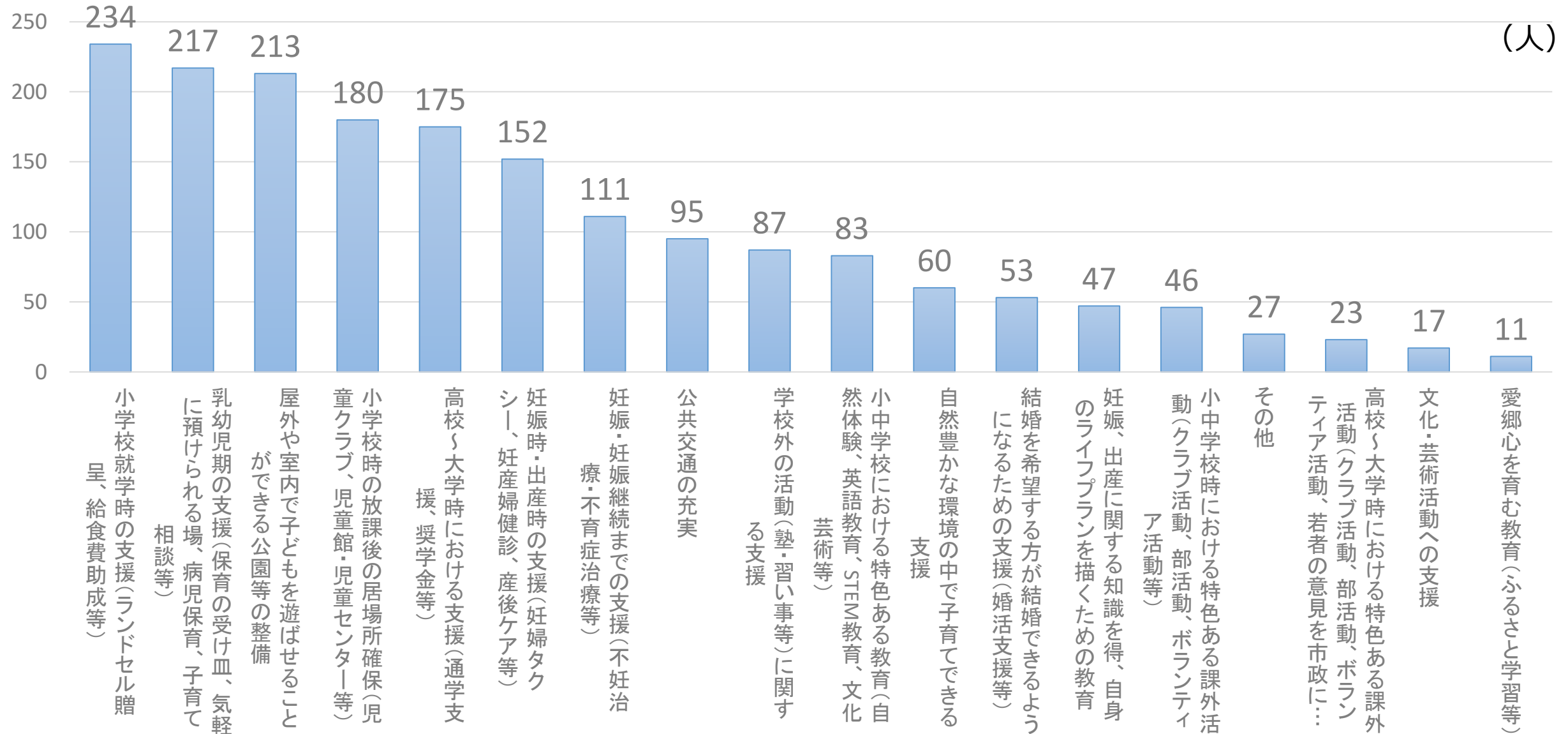
第一子出産年齢ごとに希望出生数が叶わない理由として金銭面の不安の挙げた方の内、その不安感と子どもの数についての意識を伺った

	具体的な教育費を把握しており、自身や家族の収入を踏まえ子どもの数を決めている	なんとなく教育費がかかるイメージがあり、その不安から子どもの数を決めている	子どもの学力や希望により（公立私立）、教育費が変動するため、その不安から子どもの数を決めている	子育てや教育に関する費用の不安はあるものの、それを主な理由として子どもの数を決めていない	子育てや教育に関する費用の不安を理由に、子どもの数を決めていない	総計
30代後半以上	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%
30代前半	6.8%	36.4%	27.3%	13.6%	15.9%	100.0%
20代後半	26.0%	20.0%	22.0%	24.0%	8.0%	100.0%
20代前半以下	35.7%	14.3%	17.9%	17.9%	14.3%	100.0%
総計	23.5%	25.0%	22.0%	18.2%	11.4%	100.0%

# 子育て世代アンケート結果



子育て世代に魅力的な街であるために重要な分野

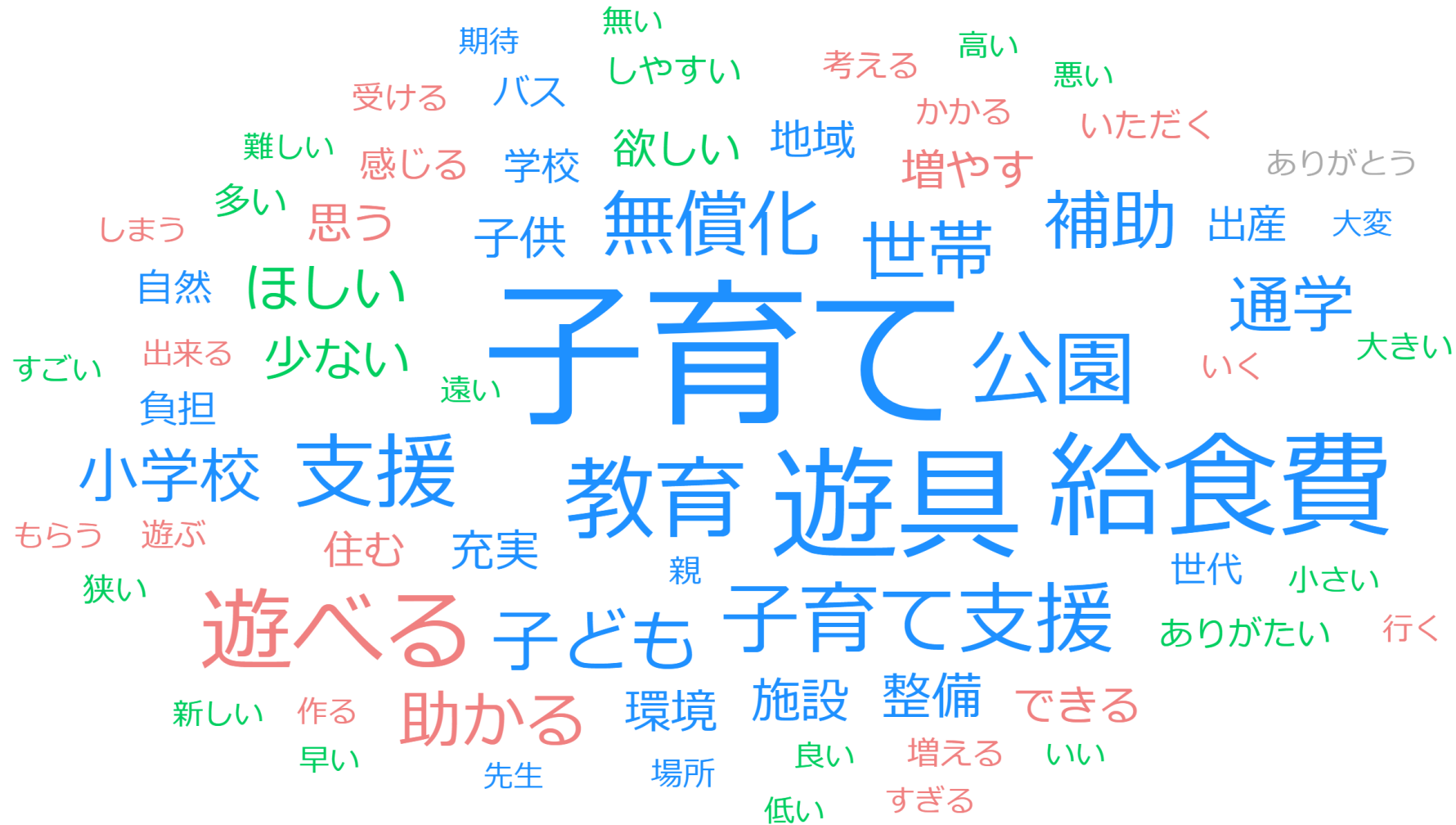


# 子育て世代アンケート結果

公共交通の需要について、各地区で公共交通が重要な分野であると回答した割合

石岡	14.8%
府中	13.3%
国府	21.1%
旧城南	16.7%
旧柿岡	46.8%
旧八郷南	34.5%
旧有明	50.0%
園部	21.2%

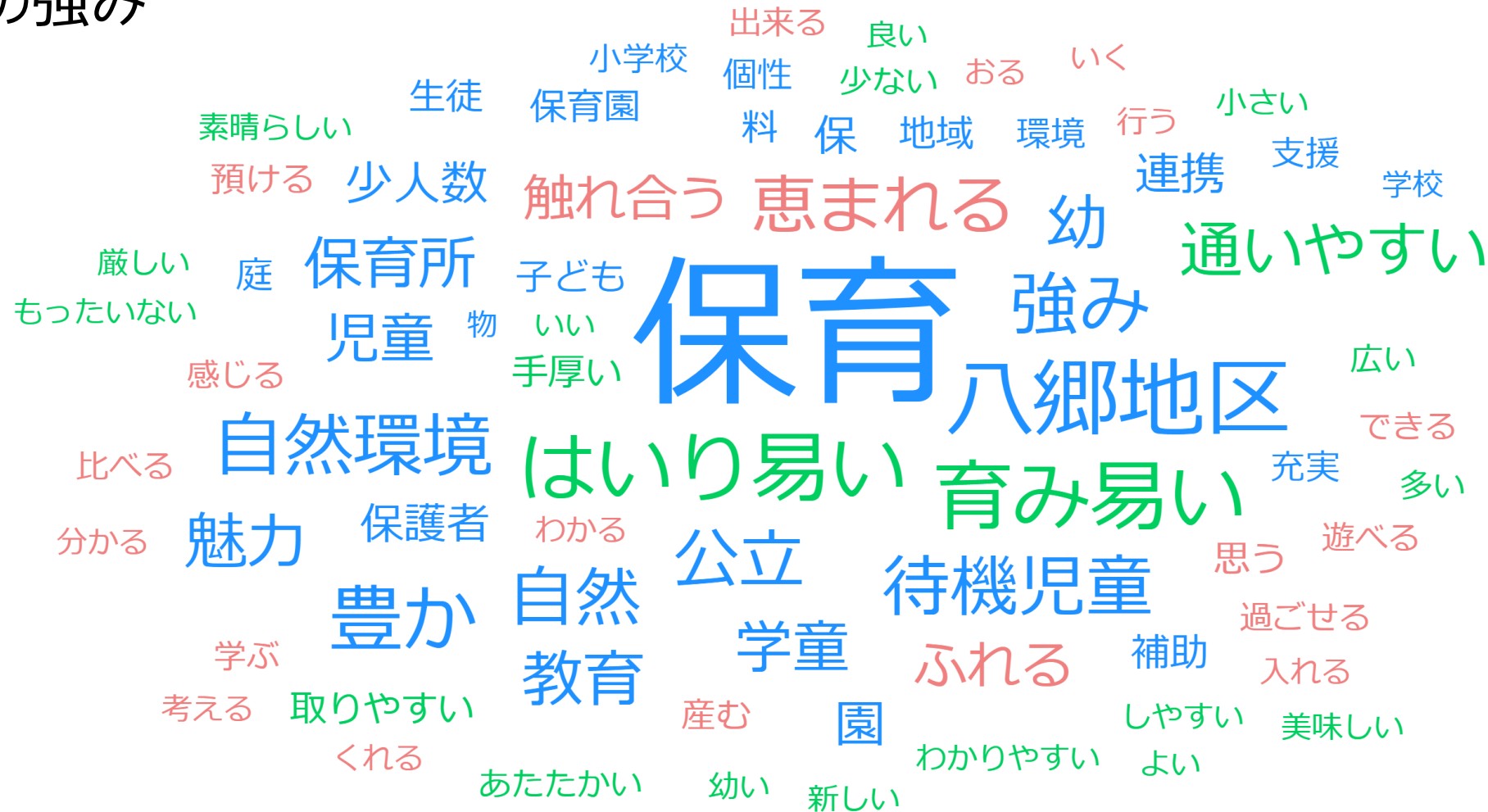
# 子育て世代アンケート結果



※上記の図は、自由記述内容をAIテキストマイニングを用いて分析した内容であり、出てくる頻度が高い単語を選び、その頻度に応じた大きさを図示しています。(青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞)

# 保育と教育に関するアンケート結果

## 石岡市の強み



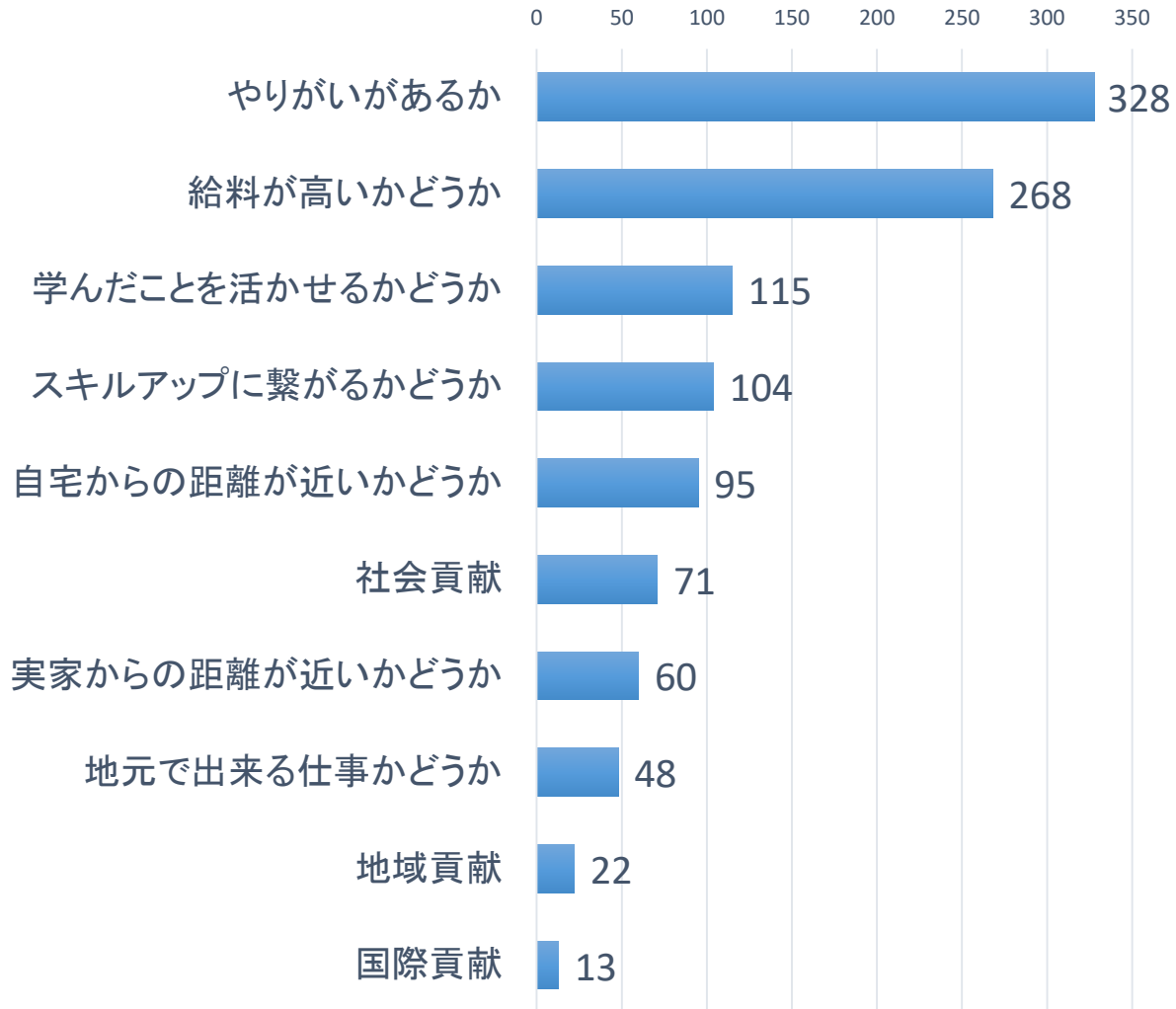
※上記の図は、自由記述内容をAIテキストマイニングを用いて分析した内容であり、出てくる頻度が高い単語を選び、その頻度に応じた大きさを図示しています。(青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞)



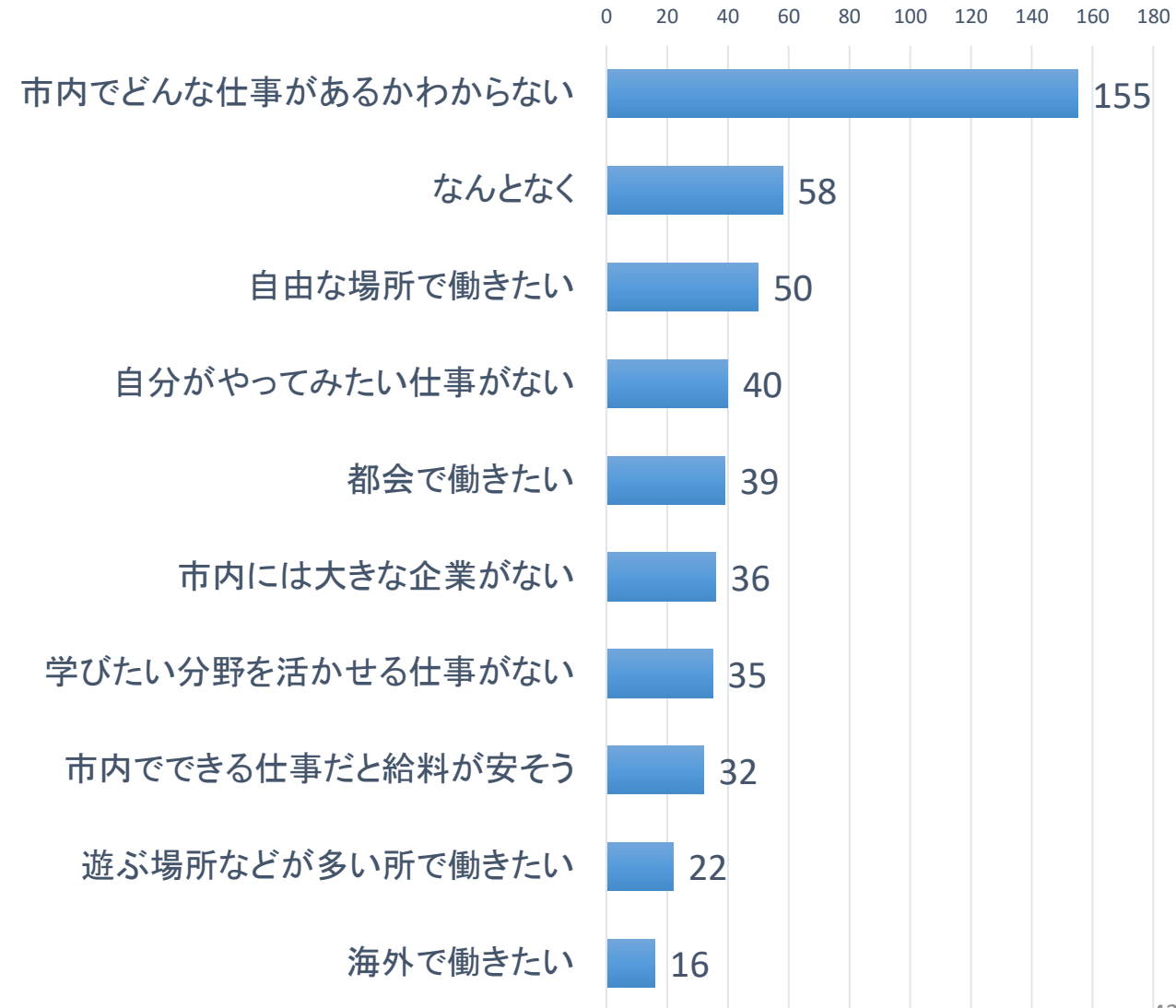


# 高校生アンケート結果

## 仕事を選ぶ際に重視すること (人)

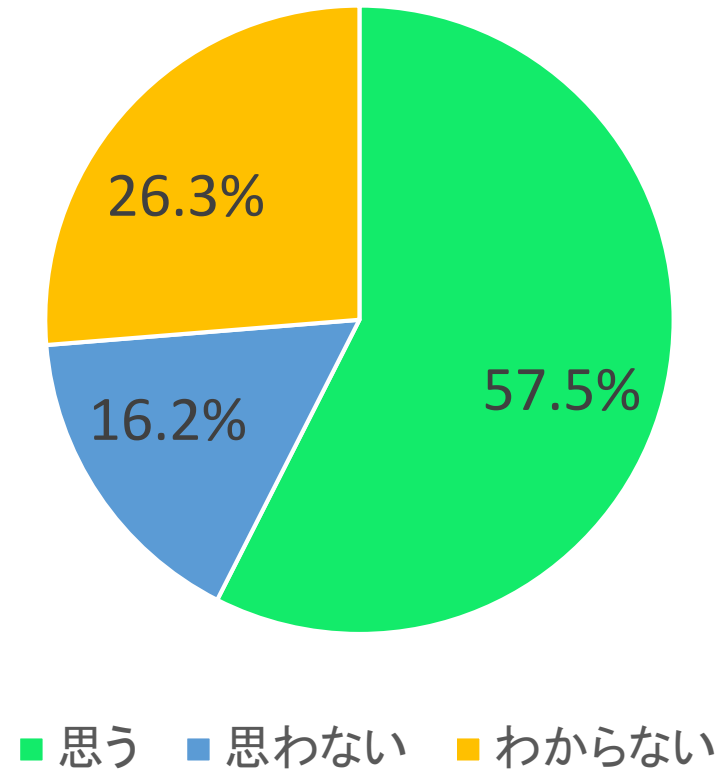


## 市内で働けない・働けるかわからない理由 (人)

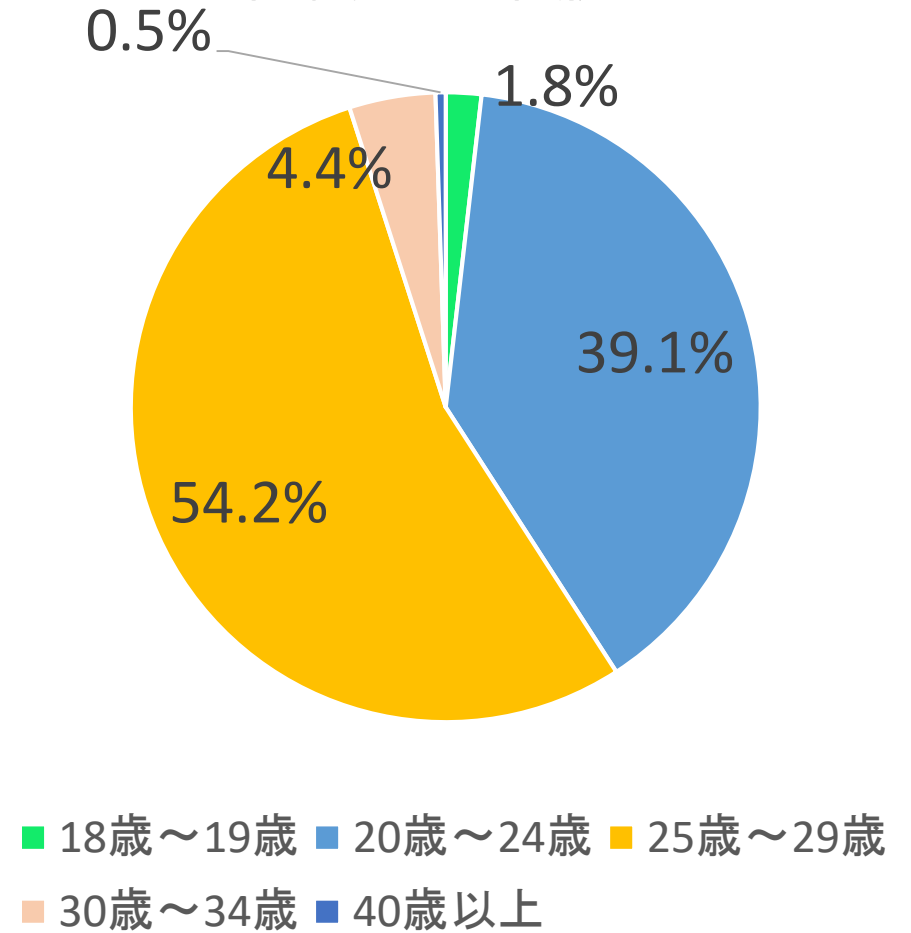




## 将来結婚したいと思うか



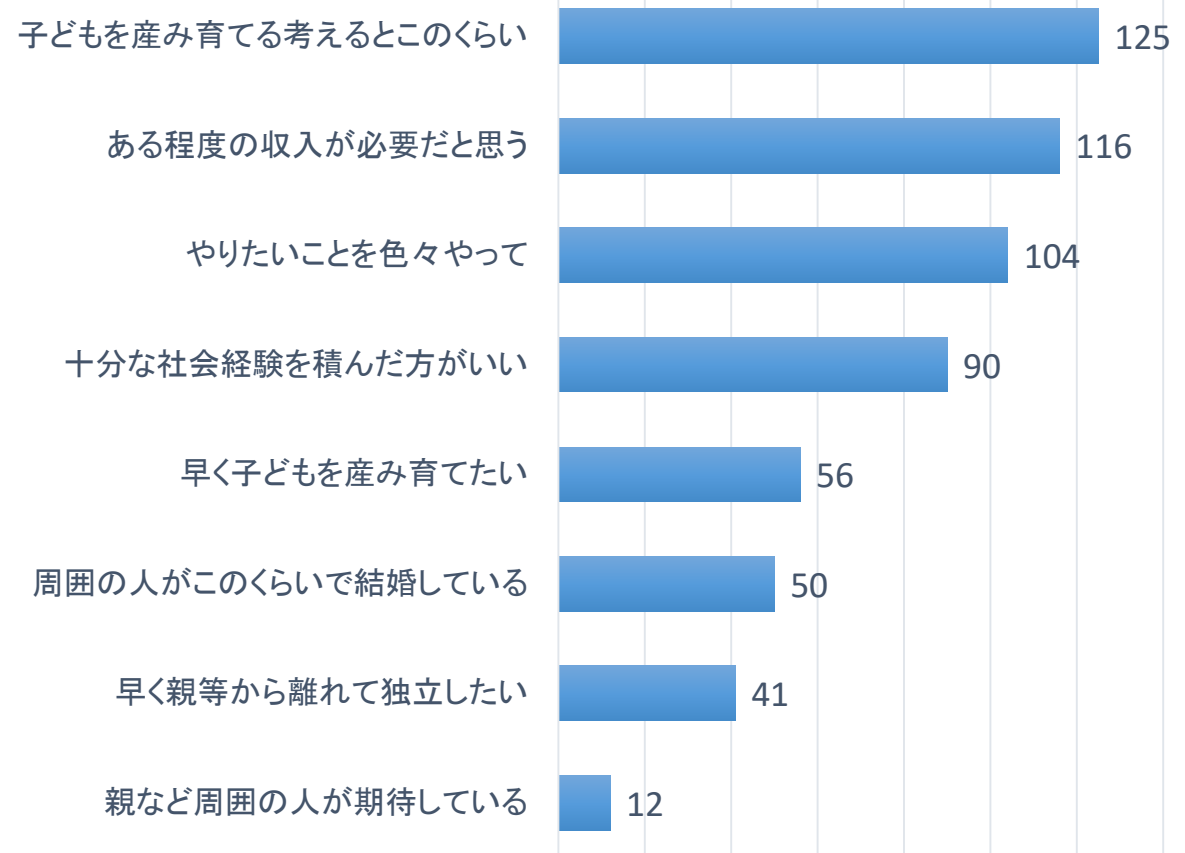
## 結婚するなら何歳か



# 高校生アンケート結果

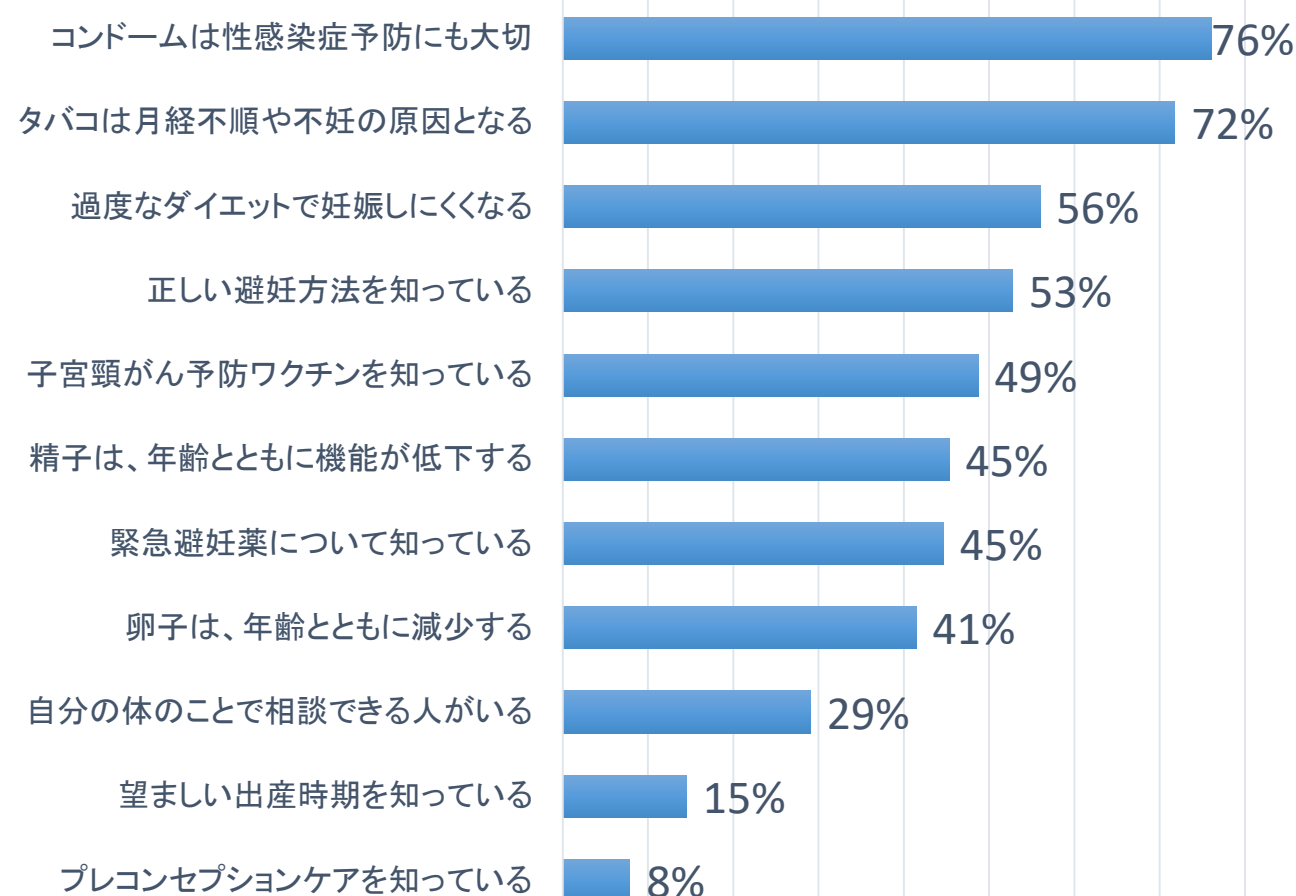
## 結婚時期を考える理由 (人)

0 20 40 60 80 100 120 140

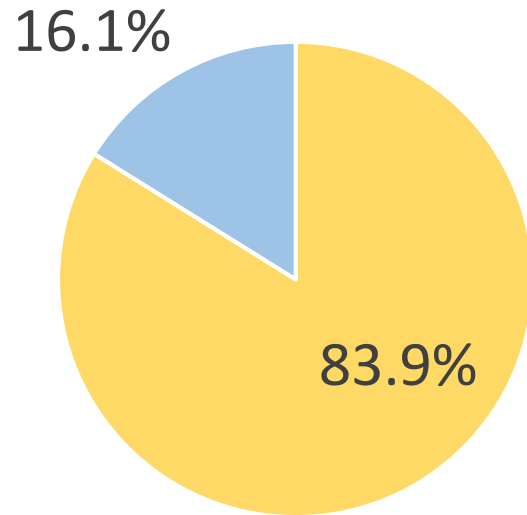


## 妊娠・出産に関する知識 (人)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%

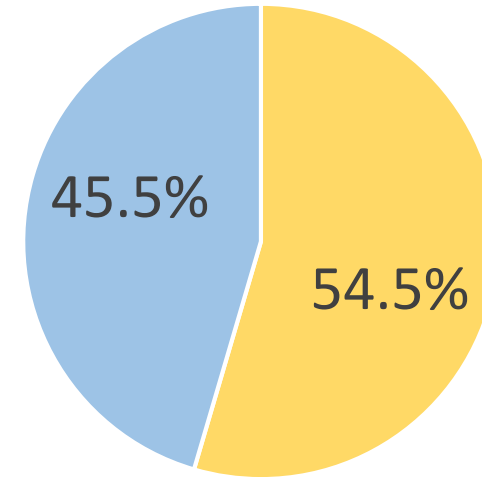


結婚に関する考え



- いずれ結婚するつもり
- 一生結婚するつもりはない

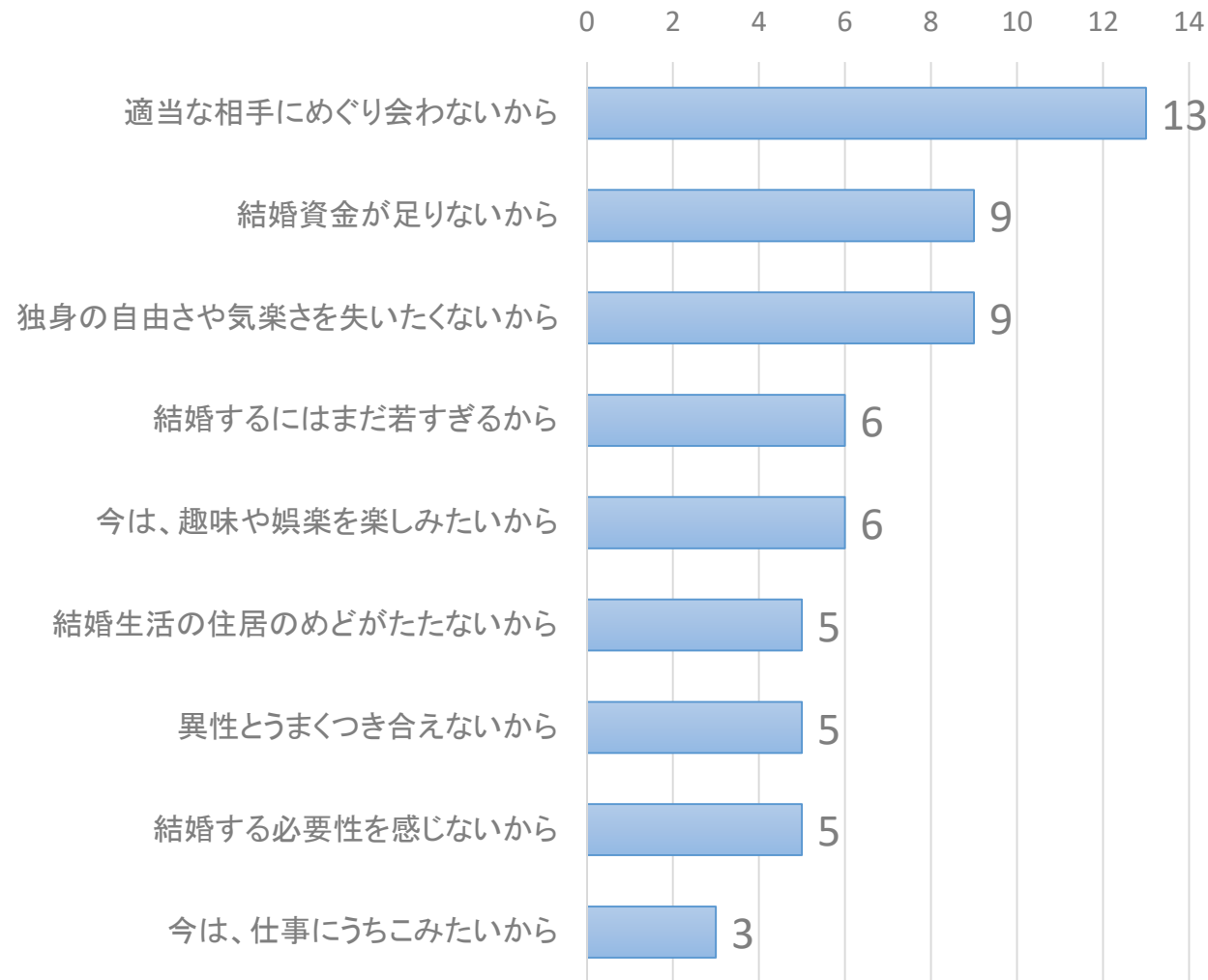
結婚に関する考え



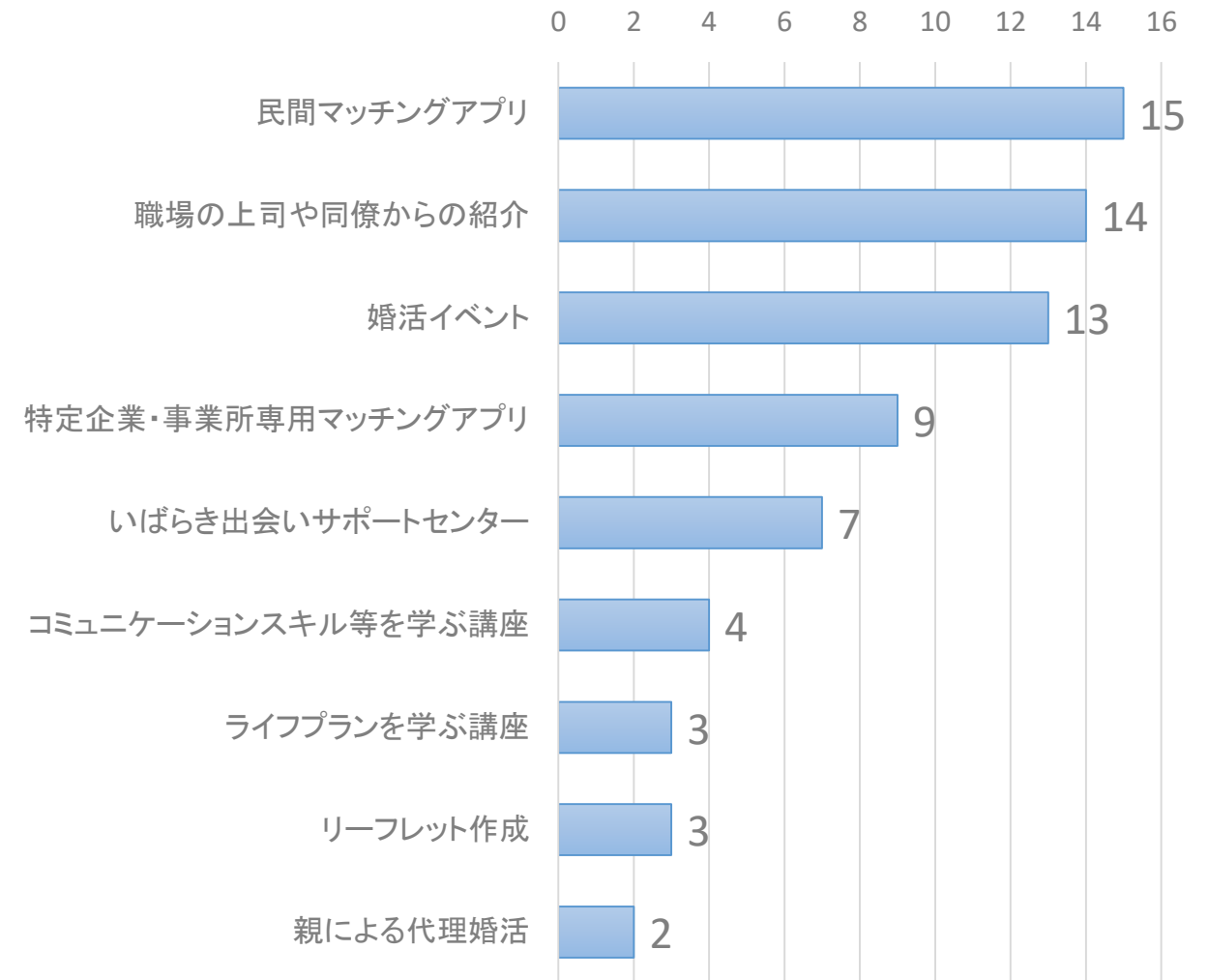
- ある程度の年齢までには結婚するつもり
- 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

# 職員アンケート結果

あなたが現在独身でいる理由 (人)



結婚を促す支援策として有効だと思う取組 (人)



# 職員アンケート結果

	理想のライフコース	現実になりそうなライフコース
結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける	74.2%	61.3%
結婚し、子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ	3.2%	0.0%
結婚し、子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない	3.2%	0.0%
結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける	6.5%	12.9%
結婚せず、仕事を続ける	12.9%	25.8%

妊娠出産に関する知識等

